

## 交付図書の訂正について

令和7年11月21日付けで入札公告を行った「磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の交付図書についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、交付図書をご確認ください。

令和8年6月8日

契約責任者

東日本高速道路株式会社

東北支社長 梅木 秀郎

### 【訂正内容】

- ・ 特記仕様書
- ・ 金抜設計書
- ・ 数量明細表
- ・ 割掛対象表参考内訳書
- ・ 設計図 本線
- ・ 設計図 トンネル
- ・ 設計図 工事用仮栈橋
- ・ 設計図 附帯工
- ・ 設計図 参考図

※訂正箇所は、別添の「正誤表」をご確認ください。

磐越自動車道  
烏屋山トンネル工事

交 付 図 書 正 誤 表

令和8年6月

東日本高速道路株式会社 東北支社

会津若松管理事務所

対象	誤	正	備考																																												
<p>特記仕様書</p> <p>24-16 鋼アーチ支保工</p> <p>(1)種別</p>	<p>24-16 鋼アーチ支保工</p> <p>(1) 種別</p> <p>共通仕様書12-7-3「鋼アーチ支保工の種別」に次の項目を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="581 390 1525 795"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - I</td> <td>トンネル掘削 DⅢa (H) - K DⅢa (H) - A-K DⅢa (H) - A-K-W DⅢa (H) - K-W DⅢa (H) - 1-Kに使用</td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - II</td> <td>トンネル掘削 DⅢa (H) - R-Kに使用</td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - I</td> <td>トンネル掘削 DⅠ (H) - A-K-Lに使用</td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - II</td> <td>トンネル掘削 DⅠ (H) - K-Lに使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 支払</p> <p>共通仕様書12-7-6「支払」に下記を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="635 856 1279 1045"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-(4) 鋼アーチ支保工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DⅢa (H) - I</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>DⅢa (H) - II</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>DⅠ-L (H) - I</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>DⅠ-L (H) - II</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - I	トンネル掘削 DⅢa (H) - K DⅢa (H) - A-K DⅢa (H) - A-K-W DⅢa (H) - K-W DⅢa (H) - 1-Kに使用	鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - II	トンネル掘削 DⅢa (H) - R-Kに使用	鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - I	トンネル掘削 DⅠ (H) - A-K-Lに使用	鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - II	トンネル掘削 DⅠ (H) - K-Lに使用	単価表の項目	検測の単位	12-(4) 鋼アーチ支保工		DⅢa (H) - I	基	DⅢa (H) - II	基	DⅠ-L (H) - I	基	DⅠ-L (H) - II	基	<p>24-16 鋼アーチ支保工</p> <p>(1) 種別</p> <p>共通仕様書12-7-3「鋼アーチ支保工の種別」に次の項目を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="1733 390 2647 795"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - I</td> <td>トンネル掘削 DⅢa (H) - K DⅢa (H) - A-K DⅢa (H) - A-K-W DⅢa (H) - K-W DⅢa (H) - 1-Kに使用</td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - II</td> <td>トンネル掘削 DⅢa (H) - R-Kに使用</td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - I</td> <td>トンネル掘削 DⅠ (H) - K-Lに使用</td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - II</td> <td>トンネル掘削 DⅠ (H) - A-K-Lに使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 支払</p> <p>共通仕様書12-7-6「支払」に下記を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="1786 856 2430 1045"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-(4) 鋼アーチ支保工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DⅢa (H) - I</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>DⅢa (H) - II</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>DⅠ-L (H) - I</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>DⅠ-L (H) - II</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - I	トンネル掘削 DⅢa (H) - K DⅢa (H) - A-K DⅢa (H) - A-K-W DⅢa (H) - K-W DⅢa (H) - 1-Kに使用	鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - II	トンネル掘削 DⅢa (H) - R-Kに使用	鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - I	トンネル掘削 DⅠ (H) - K-Lに使用	鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - II	トンネル掘削 DⅠ (H) - A-K-Lに使用	単価表の項目	検測の単位	12-(4) 鋼アーチ支保工		DⅢa (H) - I	基	DⅢa (H) - II	基	DⅠ-L (H) - I	基	DⅠ-L (H) - II	基	<p>訂正</p>
単価表の項目	区分内容																																														
鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - I	トンネル掘削 DⅢa (H) - K DⅢa (H) - A-K DⅢa (H) - A-K-W DⅢa (H) - K-W DⅢa (H) - 1-Kに使用																																														
鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - II	トンネル掘削 DⅢa (H) - R-Kに使用																																														
鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - I	トンネル掘削 DⅠ (H) - A-K-Lに使用																																														
鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - II	トンネル掘削 DⅠ (H) - K-Lに使用																																														
単価表の項目	検測の単位																																														
12-(4) 鋼アーチ支保工																																															
DⅢa (H) - I	基																																														
DⅢa (H) - II	基																																														
DⅠ-L (H) - I	基																																														
DⅠ-L (H) - II	基																																														
単価表の項目	区分内容																																														
鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - I	トンネル掘削 DⅢa (H) - K DⅢa (H) - A-K DⅢa (H) - A-K-W DⅢa (H) - K-W DⅢa (H) - 1-Kに使用																																														
鋼アーチ支保工 DⅢa (H) - II	トンネル掘削 DⅢa (H) - R-Kに使用																																														
鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - I	トンネル掘削 DⅠ (H) - K-Lに使用																																														
鋼アーチ支保工 DⅠ-L (H) - II	トンネル掘削 DⅠ (H) - A-K-Lに使用																																														
単価表の項目	検測の単位																																														
12-(4) 鋼アーチ支保工																																															
DⅢa (H) - I	基																																														
DⅢa (H) - II	基																																														
DⅠ-L (H) - I	基																																														
DⅠ-L (H) - II	基																																														

対象	誤	正	備考																																																
<p>特記仕様書</p> <p>24-19 計測工 (2)施工</p>	<p>4) 計測工Cの計測は自動計測による常時観測とする。</p> <table border="1" data-bbox="575 289 1555 1629"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計測工B 地中変位測定</td> <td>トンネル周辺の変位量を知り、先行沈下・ゆるみ等の地山挙動を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、坑内から地中変位を測定するもの。(L=8.0m) 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=4.0m)</td> <td>ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、支保パターンDⅢa(H)-R-K、DⅢa(H)-1-Kにおいてロックボルト軸力を測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=6.0m)</td> <td>ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、支保パターンDⅠ(H)-A-K-Lにおいてロックボルト軸力を測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工B 吹付コンクリートの応力測定</td> <td>吹付コンクリートに生じる応力の大きさおよび分布状況を把握することにより、トンネルの安全性の把握するため、吹付コンクリートの応力(トンネル接線方向)を測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工B 鋼アーチ支保工の応力測定</td> <td>鋼アーチ支保工に生じる応力の大きさ、分布状況を把握することにより、鋼アーチ支保工の大きさ、ピッチや必要性の検討材料とするため、鋼アーチ支保工の応力を測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工C 亀裂変位測定</td> <td>ひび割れが発生している箇所において幅やずれを計測し、ひび割れの挙動を測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工C 内空変位測定</td> <td>トンネルの変状状態を把握し、安全性を判断するために内空寸法、天端沈下量を測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工C 覆工コンクリート応力測定</td> <td>トンネル覆工に生じる応力状態を把握し、安全性を判断するため、測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工C 坑内温度測定</td> <td>坑内の温度変化を把握し、各計測機器の温度補正値を設定するため、測定するもの。 計測機器の設置</td> </tr> <tr> <td>計測工C 振動測定</td> <td>爆破掘削において、I期線トンネルの構造に影響を与えないよう発破を管理するため、伝播する発破振動の大きさを測定するもの。 計測機器の設置・撤去、データの回収、測定データの取りまとめ</td> </tr> <tr> <td>計測工C 自動計測機設置</td> <td>各計測機による測定値を集約し自動観測による計測値を伝達するもの。 計測機器及び計測データ収集設備の設置、データの回収、測定データの取りまとめ</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	計測工B 地中変位測定	トンネル周辺の変位量を知り、先行沈下・ゆるみ等の地山挙動を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、坑内から地中変位を測定するもの。(L=8.0m) 計測機器の設置	計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=4.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、支保パターンDⅢa(H)-R-K、DⅢa(H)-1-Kにおいてロックボルト軸力を測定するもの。 計測機器の設置	計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=6.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、支保パターンDⅠ(H)-A-K-Lにおいてロックボルト軸力を測定するもの。 計測機器の設置	計測工B 吹付コンクリートの応力測定	吹付コンクリートに生じる応力の大きさおよび分布状況を把握することにより、トンネルの安全性の把握するため、吹付コンクリートの応力(トンネル接線方向)を測定するもの。 計測機器の設置	計測工B 鋼アーチ支保工の応力測定	鋼アーチ支保工に生じる応力の大きさ、分布状況を把握することにより、鋼アーチ支保工の大きさ、ピッチや必要性の検討材料とするため、鋼アーチ支保工の応力を測定するもの。 計測機器の設置	計測工C 亀裂変位測定	ひび割れが発生している箇所において幅やずれを計測し、ひび割れの挙動を測定するもの。 計測機器の設置	計測工C 内空変位測定	トンネルの変状状態を把握し、安全性を判断するために内空寸法、天端沈下量を測定するもの。 計測機器の設置	計測工C 覆工コンクリート応力測定	トンネル覆工に生じる応力状態を把握し、安全性を判断するため、測定するもの。 計測機器の設置	計測工C 坑内温度測定	坑内の温度変化を把握し、各計測機器の温度補正値を設定するため、測定するもの。 計測機器の設置	計測工C 振動測定	爆破掘削において、I期線トンネルの構造に影響を与えないよう発破を管理するため、伝播する発破振動の大きさを測定するもの。 計測機器の設置・撤去、データの回収、測定データの取りまとめ	計測工C 自動計測機設置	各計測機による測定値を集約し自動観測による計測値を伝達するもの。 計測機器及び計測データ収集設備の設置、データの回収、測定データの取りまとめ	<p>4) 計測工Cの計測は自動計測による常時観測とする。</p> <table border="1" data-bbox="1665 289 2659 1402"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計測工B 地中変位測定</td> <td>トンネル周辺の変位量から先行沈下、ゆるみ等の地山挙動を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため地中変位計測機器を設置し、坑内から地中変位を測定するもの。(地中変位測定延長L=6.0m、L=8.0m)</td> </tr> <tr> <td>計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=4.0m)</td> <td>ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため支保パターンDⅢa(H)-R-K、DⅢa(H)-1-Kにおいて計測機器を設置し、ロックボルト軸力を測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=6.0m)</td> <td>ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため支保パターンDⅠ(H)-A-K-Lにおいて計測機器を設置し、ロックボルト軸力を測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工B 吹付コンクリートの応力測定</td> <td>吹付コンクリートに生じる応力の大きさおよび分布状況を把握することにより、トンネルの安全性の把握するため計測機器を設置し、吹付コンクリートの応力(トンネル接線方向)を測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工B 鋼アーチ支保工の応力測定</td> <td>鋼アーチ支保工に生じる応力の大きさ、分布状況を把握することにより、鋼アーチ支保工の大きさ、ピッチや必要性の検討材料とするため計測機器を設置し、鋼アーチ支保工の応力を測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工C 亀裂変位測定</td> <td>ひび割れが発生している箇所において計測機器を設置し、ひび割れ幅やずれ、ひび割れの挙動を測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工C 内空変位測定</td> <td>トンネルの変状状態を把握し安全性を判断するため計測機器を設置し、内空寸法、天端沈下量を測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工C 覆工コンクリート応力測定</td> <td>トンネル覆工に生じる応力状態を把握し安全性を判断するため計測機器を設置し、測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工C 坑内温度測定</td> <td>坑内の温度変化を把握し各計測機器の温度補正値を設定するため計測機器を設置し、測定するもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工C 振動測定</td> <td>爆破掘削において、I期線トンネルの構造に影響を与えないよう発破を管理し伝播する発破振動の大きさを測定するため、計測機器の設置・撤去、データの回収、測定データの取りまとめを行うもの。</td> </tr> <tr> <td>計測工C 自動計測機設置</td> <td>亀裂変位測定、内空変位測定、覆工コンクリート応力測定、坑内温度測定の測定値を集約し自動観測による計測値を送信するため、計測機器及び計測データ収集設備の設置、データの回収、測定データの取りまとめを行うもの。</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	計測工B 地中変位測定	トンネル周辺の変位量から先行沈下、ゆるみ等の地山挙動を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため地中変位計測機器を設置し、坑内から地中変位を測定するもの。(地中変位測定延長L=6.0m、L=8.0m)	計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=4.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため支保パターンDⅢa(H)-R-K、DⅢa(H)-1-Kにおいて計測機器を設置し、ロックボルト軸力を測定するもの。	計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=6.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため支保パターンDⅠ(H)-A-K-Lにおいて計測機器を設置し、ロックボルト軸力を測定するもの。	計測工B 吹付コンクリートの応力測定	吹付コンクリートに生じる応力の大きさおよび分布状況を把握することにより、トンネルの安全性の把握するため計測機器を設置し、吹付コンクリートの応力(トンネル接線方向)を測定するもの。	計測工B 鋼アーチ支保工の応力測定	鋼アーチ支保工に生じる応力の大きさ、分布状況を把握することにより、鋼アーチ支保工の大きさ、ピッチや必要性の検討材料とするため計測機器を設置し、鋼アーチ支保工の応力を測定するもの。	計測工C 亀裂変位測定	ひび割れが発生している箇所において計測機器を設置し、ひび割れ幅やずれ、ひび割れの挙動を測定するもの。	計測工C 内空変位測定	トンネルの変状状態を把握し安全性を判断するため計測機器を設置し、内空寸法、天端沈下量を測定するもの。	計測工C 覆工コンクリート応力測定	トンネル覆工に生じる応力状態を把握し安全性を判断するため計測機器を設置し、測定するもの。	計測工C 坑内温度測定	坑内の温度変化を把握し各計測機器の温度補正値を設定するため計測機器を設置し、測定するもの。	計測工C 振動測定	爆破掘削において、I期線トンネルの構造に影響を与えないよう発破を管理し伝播する発破振動の大きさを測定するため、計測機器の設置・撤去、データの回収、測定データの取りまとめを行うもの。	計測工C 自動計測機設置	亀裂変位測定、内空変位測定、覆工コンクリート応力測定、坑内温度測定の測定値を集約し自動観測による計測値を送信するため、計測機器及び計測データ収集設備の設置、データの回収、測定データの取りまとめを行うもの。	<p>訂正</p>
単価表の項目	区分内容																																																		
計測工B 地中変位測定	トンネル周辺の変位量を知り、先行沈下・ゆるみ等の地山挙動を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、坑内から地中変位を測定するもの。(L=8.0m) 計測機器の設置																																																		
計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=4.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、支保パターンDⅢa(H)-R-K、DⅢa(H)-1-Kにおいてロックボルト軸力を測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=6.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため、支保パターンDⅠ(H)-A-K-Lにおいてロックボルト軸力を測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工B 吹付コンクリートの応力測定	吹付コンクリートに生じる応力の大きさおよび分布状況を把握することにより、トンネルの安全性の把握するため、吹付コンクリートの応力(トンネル接線方向)を測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工B 鋼アーチ支保工の応力測定	鋼アーチ支保工に生じる応力の大きさ、分布状況を把握することにより、鋼アーチ支保工の大きさ、ピッチや必要性の検討材料とするため、鋼アーチ支保工の応力を測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工C 亀裂変位測定	ひび割れが発生している箇所において幅やずれを計測し、ひび割れの挙動を測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工C 内空変位測定	トンネルの変状状態を把握し、安全性を判断するために内空寸法、天端沈下量を測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工C 覆工コンクリート応力測定	トンネル覆工に生じる応力状態を把握し、安全性を判断するため、測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工C 坑内温度測定	坑内の温度変化を把握し、各計測機器の温度補正値を設定するため、測定するもの。 計測機器の設置																																																		
計測工C 振動測定	爆破掘削において、I期線トンネルの構造に影響を与えないよう発破を管理するため、伝播する発破振動の大きさを測定するもの。 計測機器の設置・撤去、データの回収、測定データの取りまとめ																																																		
計測工C 自動計測機設置	各計測機による測定値を集約し自動観測による計測値を伝達するもの。 計測機器及び計測データ収集設備の設置、データの回収、測定データの取りまとめ																																																		
単価表の項目	区分内容																																																		
計測工B 地中変位測定	トンネル周辺の変位量から先行沈下、ゆるみ等の地山挙動を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため地中変位計測機器を設置し、坑内から地中変位を測定するもの。(地中変位測定延長L=6.0m、L=8.0m)																																																		
計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=4.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため支保パターンDⅢa(H)-R-K、DⅢa(H)-1-Kにおいて計測機器を設置し、ロックボルト軸力を測定するもの。																																																		
計測工B ロックボルトの軸力試験 (L=6.0m)	ロックボルトに生じたひずみから、軸力の大きさ、分布状況を把握し、ロックボルトの長さ、設計、施工の妥当性の判断材料とするため支保パターンDⅠ(H)-A-K-Lにおいて計測機器を設置し、ロックボルト軸力を測定するもの。																																																		
計測工B 吹付コンクリートの応力測定	吹付コンクリートに生じる応力の大きさおよび分布状況を把握することにより、トンネルの安全性の把握するため計測機器を設置し、吹付コンクリートの応力(トンネル接線方向)を測定するもの。																																																		
計測工B 鋼アーチ支保工の応力測定	鋼アーチ支保工に生じる応力の大きさ、分布状況を把握することにより、鋼アーチ支保工の大きさ、ピッチや必要性の検討材料とするため計測機器を設置し、鋼アーチ支保工の応力を測定するもの。																																																		
計測工C 亀裂変位測定	ひび割れが発生している箇所において計測機器を設置し、ひび割れ幅やずれ、ひび割れの挙動を測定するもの。																																																		
計測工C 内空変位測定	トンネルの変状状態を把握し安全性を判断するため計測機器を設置し、内空寸法、天端沈下量を測定するもの。																																																		
計測工C 覆工コンクリート応力測定	トンネル覆工に生じる応力状態を把握し安全性を判断するため計測機器を設置し、測定するもの。																																																		
計測工C 坑内温度測定	坑内の温度変化を把握し各計測機器の温度補正値を設定するため計測機器を設置し、測定するもの。																																																		
計測工C 振動測定	爆破掘削において、I期線トンネルの構造に影響を与えないよう発破を管理し伝播する発破振動の大きさを測定するため、計測機器の設置・撤去、データの回収、測定データの取りまとめを行うもの。																																																		
計測工C 自動計測機設置	亀裂変位測定、内空変位測定、覆工コンクリート応力測定、坑内温度測定の測定値を集約し自動観測による計測値を送信するため、計測機器及び計測データ収集設備の設置、データの回収、測定データの取りまとめを行うもの。																																																		

対象	誤							正							備考		
金抜設計書 単価表 12-(12) 路盤排水工 中央排水工B	単 価 表							単 価 表							訂正		
	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価		金 額	摘 要
	97	12 - ( 9)	覆工防水工 A (B)	4,533	m <sup>2</sup>				97	12 - ( 9)	覆工防水工 A (B)	4,533	m <sup>2</sup>				
	98	12 - ( 9)	覆工防水工 A (K)	47,728	m <sup>2</sup>				98	12 - ( 9)	覆工防水工 A (K)	47,728	m <sup>2</sup>				
	99	12 - ( 9)	覆工防水工 B (K)	7,290	m <sup>2</sup>				99	12 - ( 9)	覆工防水工 B (K)	7,290	m <sup>2</sup>				
	100	12 - (11)	裏面排水工 A	5,231	m				100	12 - (11)	裏面排水工 A	5,231	m				
	101	12 - (12)	路盤排水工 中央排水工B	2,550	m				101	12 - (12)	路盤排水工 中央排水工B	2,582	m				
	102	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工B	476	m				102	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工B	476	m				
	103	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工C	161	m				103	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工C	161	m				
	104	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転) A	775	日				104	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転) A	775	日				
	105	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転) B	590	日				105	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転) B	590	日				
	106	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用) A	1,107	日				106	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用) A	1,107	日				
	107	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用) B	843	日				107	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用) B	843	日				
108	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工 A (A)	198	m <sup>3</sup>				108	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工 A (A)	198	m <sup>3</sup>					

対象	誤	正	備考																																																																																																																																																																																																																
金抜設計書 単価表 12-(17) 切羽監視員	<p style="text-align: center;">単 価 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目番号</th> <th>項 目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>121</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 A</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>122</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 B</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>123</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 A</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>124</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 B</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="border: 2px solid yellow;"> <td>125</td> <td>12 - (17)</td> <td>切羽監視員</td> <td>2,483</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>126</td> <td>17 - (31)</td> <td>はく落防止対策工 A</td> <td>198</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>127</td> <td>18 - (17)</td> <td>構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A)</td> <td>2</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>128</td> <td>18 - (17)</td> <td>構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type B)</td> <td>30</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>129</td> <td>18 - (17)</td> <td>構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (t=10cm)</td> <td>6</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>130</td> <td>19 - (2)</td> <td>交通保安要員 交通誘導警備員A 1</td> <td>1,375</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>131</td> <td>19 - (2)</td> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B 1</td> <td>50</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>132</td> <td>19 - (2)</td> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B 1 (Y)</td> <td>6</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	121	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 A	1	式				122	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 B	1	式				123	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 A	1	式				124	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 B	1	式				125	12 - (17)	切羽監視員	2,483	人・日				126	17 - (31)	はく落防止対策工 A	198	m <sup>2</sup>				127	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A)	2	m <sup>3</sup>				128	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type B)	30	m <sup>3</sup>				129	18 - (17)	構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (t=10cm)	6	m <sup>2</sup>				130	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員A 1	1,375	人・日				131	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1	50	人・日				132	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1 (Y)	6	人・日				<p style="text-align: center;">単 価 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目番号</th> <th>項 目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>121</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 A</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>122</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 B</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>123</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 A</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>124</td> <td>12 - (16)</td> <td>フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 B</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>125</td> <td>12 - (17)</td> <td>切羽監視員</td> <td>2,521</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>126</td> <td>17 - (31)</td> <td>はく落防止対策工 A</td> <td>198</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>127</td> <td>18 - (17)</td> <td>構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A)</td> <td>2</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>128</td> <td>18 - (17)</td> <td>構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type B)</td> <td>30</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>129</td> <td>18 - (17)</td> <td>構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (t=10cm)</td> <td>6</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>130</td> <td>19 - (2)</td> <td>交通保安要員 交通誘導警備員A 1</td> <td>1,375</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>131</td> <td>19 - (2)</td> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B 1</td> <td>50</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>132</td> <td>19 - (2)</td> <td>交通保安要員 交通誘導警備員B 1 (Y)</td> <td>6</td> <td>人・日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	121	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 A	1	式				122	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 B	1	式				123	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 A	1	式				124	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 B	1	式				125	12 - (17)	切羽監視員	2,521	人・日				126	17 - (31)	はく落防止対策工 A	198	m <sup>2</sup>				127	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A)	2	m <sup>3</sup>				128	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type B)	30	m <sup>3</sup>				129	18 - (17)	構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (t=10cm)	6	m <sup>2</sup>				130	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員A 1	1,375	人・日				131	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1	50	人・日				132	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1 (Y)	6	人・日				<p style="text-align: center;">訂正</p>
	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要																																																																																																																																																																																																											
	121	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 A	1	式																																																																																																																																																																																																														
	122	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 B	1	式																																																																																																																																																																																																														
	123	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 A	1	式																																																																																																																																																																																																														
	124	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 B	1	式																																																																																																																																																																																																														
	125	12 - (17)	切羽監視員	2,483	人・日																																																																																																																																																																																																														
	126	17 - (31)	はく落防止対策工 A	198	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																														
	127	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A)	2	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																														
	128	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type B)	30	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																														
	129	18 - (17)	構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (t=10cm)	6	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																														
	130	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員A 1	1,375	人・日																																																																																																																																																																																																														
	131	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1	50	人・日																																																																																																																																																																																																														
	132	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1 (Y)	6	人・日																																																																																																																																																																																																														
	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要																																																																																																																																																																																																											
	121	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 A	1	式																																																																																																																																																																																																														
	122	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工 B	1	式																																																																																																																																																																																																														
	123	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 A	1	式																																																																																																																																																																																																														
	124	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工 B	1	式																																																																																																																																																																																																														
	125	12 - (17)	切羽監視員	2,521	人・日																																																																																																																																																																																																														
126	17 - (31)	はく落防止対策工 A	198	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																															
127	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type A)	2	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																															
128	18 - (17)	構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (Type B)	30	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																															
129	18 - (17)	構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (t=10cm)	6	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																															
130	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員A 1	1,375	人・日																																																																																																																																																																																																															
131	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1	50	人・日																																																																																																																																																																																																															
132	19 - (2)	交通保安要員 交通誘導警備員B 1 (Y)	6	人・日																																																																																																																																																																																																															

対象  
数量明細表  
10/16  
12-(12)  
路盤排水工  
中央排水工B

誤

数量明細表 ( 10 / 16 )

工事名)磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事

番号	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
項目番号	12-(11)	12-(12)	12-(12)	12-(12)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)
番号 契約項目 名称及び測点	区分										
	表面排水工	路盤排水工	路盤排水工	路盤排水工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工
	A	中央排水工 B	横断排水工 B	横断排水工 C	汚濁水処理工 (運転) A	汚濁水処理工 (運転) B	汚濁水処理工 (供用) A	汚濁水処理工 (供用) B	泥土処理工 A(A)	泥土処理工 A(B)	泥土処理工 B(A)
	m	m	m	m	日	日	日	日	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
1	本線下り線										
2	鳥屋山トンネル	5,230.5	2,550.3	476.4	160.9	774.9	590.1	1,107.0	843.0	198.2	111.7
3	工事用仮橋										
4	附帯工										
合計		5,230.5	2,550.3	476.4	160.9	774.9	590.1	1,107.0	843.0	198.2	111.7

正

数量明細表 ( 10 / 16 )

工事名)磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事

番号	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
項目番号	12-(11)	12-(12)	12-(12)	12-(12)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)	12-(15)
番号 契約項目 名称及び測点	区分										
	表面排水工	路盤排水工	路盤排水工	路盤排水工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工	汚濁水処理工
	A	中央排水工 B	横断排水工 B	横断排水工 C	汚濁水処理工 (運転) A	汚濁水処理工 (運転) B	汚濁水処理工 (供用) A	汚濁水処理工 (供用) B	泥土処理工 A(A)	泥土処理工 A(B)	泥土処理工 B(A)
	m	m	m	m	日	日	日	日	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
1	本線下り線										
2	鳥屋山トンネル	5,230.5	2,582.0	476.4	160.9	774.9	590.1	1,107.0	843.0	198.2	111.7
3	工事用仮橋										
4	附帯工										
合計		5,230.5	2,582.0	476.4	160.9	774.9	590.1	1,107.0	843.0	198.2	111.7

備考  
訂正

**対象**

**数量明細表**  
12/16  
12-(17)  
切羽監視員

**誤**

数量明細表 ( 12 / 16 )

工事名) 磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事

番号	項目番号	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132
番号 名称及び測点	契約項目	フリッカ設備工	フリッカ設備工	フリッカ設備工	切羽監視員	はく落防止対策工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	交通安全委員	交通安全委員	交通安全委員
	区分	フリッカ設備設置工 B	フリッカ設備撤去工 A	フリッカ設備撤去工 B		A	コンクリート構造物取壊し (TypeA)	コンクリート構造物取壊し (TypeB)	アスファルト舗装取壊し (t=10cm)	交通誘導警備員 A1	交通誘導警備員 B1	交通誘導警備員 B1(Y)
	式	式	式	式	人・日	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	人・日	人・日	人・日
1	本線下り線											
2	鳥屋山トンネル	1.0	1.0	1.0	2,483.0	197.9						
3	工所用仮橋											
4	附帯工						1.7	30.2	5.5	1,375.0	50.0	6.0
	合計	1.0	1.0	1.0	2,483.0	197.9	1.7	30.2	5.5	1,375.0	50.0	6.0

**正**

数量明細表 ( 12 / 16 )

工事名) 磐越自動車道 鳥屋山トンネル工事

番号	項目番号	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132
番号 名称及び測点	契約項目	フリッカ設備工	フリッカ設備工	フリッカ設備工	切羽監視員	はく落防止対策工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	交通安全委員	交通安全委員	交通安全委員	交通安全委員
	区分	フリッカ設備設置工 B	フリッカ設備撤去工 A	フリッカ設備撤去工 B		A	コンクリート構造物取壊し (TypeA)	コンクリート構造物取壊し (TypeB)	アスファルト舗装取壊し (t=10cm)	交通誘導警備員 A1	交通誘導警備員 B1	交通誘導警備員 B1(Y)
	式	式	式	式	人・日	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	人・日	人・日	人・日
1	本線下り線											
2	鳥屋山トンネル	1.0	1.0	1.0	2,521.0	197.9						
3	工所用仮橋											
4	附帯工						1.7	30.2	5.5	1,375.0	50.0	6.0
	合計	1.0	1.0	1.0	2,521.0	197.9	1.7	30.2	5.5	1,375.0	50.0	6.0

**備考**

訂正

対象	誤	正	備考																																																																																
割掛対象表参考内訳書 【雑工事費】 河川締切費 坑口切付費	【雑工事費】 <table border="1" data-bbox="566 296 1537 1419"> <thead> <tr> <th>割掛対象表の項目名称</th> <th>工事の内容</th> <th>数量内訳 (参考)</th> <th>図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のり面仕上げ費</td> <td>共通仕様書2-6-5(8)及び2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。</td> <td>・盛土のり面仕上げ-396㎡ 工事用道路は除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河川締切費</td> <td>工事の施工に伴って、支障となる河川・水路等を締切り・迂回する仮設物に要する費用をいう。</td> <td>・大型土のう締切り-63袋 (工事用仮橋工A・B設置、撤去)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>火薬取扱い費</td> <td>火薬の取扱いに要する費用をいう。</td> <td>火薬の取扱区分(火薬を使用するトンネル工事)-3.5ヶ月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱抜き費</td> <td>トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。</td> <td>・木製型わく-760.5㎡ ・箱抜き補強材の設置-16.73t ・既設支保工の切断撤去-20.75t</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>インバート妻型わく費</td> <td>インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。</td> <td>・木製型わく-2,547㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>坑口切付費</td> <td>トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。</td> <td>・土のう (62cm×48cm) -東工区4843袋、西工区6088袋 ・外型枠 (キーストンプレート650×25×t1.2) -東工区68㎡、西工区68㎡ ・山形鋼 (L-50×50×6) -東工区704kg、西工区793kg ・吹付けコンクリート (t=20cm) -東工区67㎡、西工区66㎡ ・コンクリート吹付 (t=10cm) -東工区329㎡、西工区146㎡-のり面 (撤去、処分含む) 撤去数量-東工区10.4m3、西工区1.8m3</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>仮囲い費</td> <td>民家、一般道等と工事区域との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。</td> <td>枠構造一杭、支柱、骨組 (単管パイプ) 仮囲い-高さ3.0m×支柱間隔2.0m 東工区-設置延長L=20.5m×51.0ヶ月 (設置・撤去) 西工区-設置延長L=64.5m×42.3ヶ月 (設置・撤去)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土砂流出防止柵費 (盛土のり面用)</td> <td>田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td> <td>本線土工部 設置延長78.7m×5.0ヶ月</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土砂流出防止柵費 (切土のり面用)</td> <td>河川に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td> <td>工事用仮橋工 設置延長361.3m×52.2ヶ月</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5(8)及び2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。	・盛土のり面仕上げ-396㎡ 工事用道路は除く		河川締切費	工事の施工に伴って、支障となる河川・水路等を締切り・迂回する仮設物に要する費用をいう。	・大型土のう締切り-63袋 (工事用仮橋工A・B設置、撤去)	○	火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬の取扱区分(火薬を使用するトンネル工事)-3.5ヶ月		箱抜き費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	・木製型わく-760.5㎡ ・箱抜き補強材の設置-16.73t ・既設支保工の切断撤去-20.75t	○	インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	・木製型わく-2,547㎡		坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	・土のう (62cm×48cm) -東工区4843袋、西工区6088袋 ・外型枠 (キーストンプレート650×25×t1.2) -東工区68㎡、西工区68㎡ ・山形鋼 (L-50×50×6) -東工区704kg、西工区793kg ・吹付けコンクリート (t=20cm) -東工区67㎡、西工区66㎡ ・コンクリート吹付 (t=10cm) -東工区329㎡、西工区146㎡-のり面 (撤去、処分含む) 撤去数量-東工区10.4m3、西工区1.8m3	○	仮囲い費	民家、一般道等と工事区域との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。	枠構造一杭、支柱、骨組 (単管パイプ) 仮囲い-高さ3.0m×支柱間隔2.0m 東工区-設置延長L=20.5m×51.0ヶ月 (設置・撤去) 西工区-設置延長L=64.5m×42.3ヶ月 (設置・撤去)	○	土砂流出防止柵費 (盛土のり面用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	本線土工部 設置延長78.7m×5.0ヶ月	○	土砂流出防止柵費 (切土のり面用)	河川に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	工事用仮橋工 設置延長361.3m×52.2ヶ月	○	【雑工事費】 <table border="1" data-bbox="1673 296 2644 1446"> <thead> <tr> <th>割掛対象表の項目名称</th> <th>工事の内容</th> <th>数量内訳 (参考)</th> <th>図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のり面仕上げ費</td> <td>共通仕様書2-6-5(8)及び2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。</td> <td>・盛土のり面仕上げ-396㎡ 工事用道路は除く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河川締切費</td> <td>工事の施工に伴って、支障となる河川・水路等を締切り・迂回する仮設物に要する費用をいう。</td> <td>・大型土のう締切り-63袋 (工事用仮橋工A・B設置、撤去) 大型土のうの製作、設置、撤去、中詰め材料(新材)の坑外ずり仮置場(東工区)までの運搬、大型土のう袋の処分を含む 西工区: 運搬距離3.8km (片道)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>火薬取扱い費</td> <td>火薬の取扱いに要する費用をいう。</td> <td>火薬の取扱区分(火薬を使用するトンネル工事)-3.5ヶ月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱抜き費</td> <td>トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。</td> <td>・木製型わく-760.5㎡ ・箱抜き補強材の設置-16.73t ・既設支保工の切断撤去-20.75t</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>インバート妻型わく費</td> <td>インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。</td> <td>・木製型わく-2,547㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>坑口切付費</td> <td>トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。</td> <td>・土のう (62cm×48cm) -東工区4843袋、西工区6088袋 現場発生土を使用した土のうの製作、設置、撤去、中詰め材料の自工区外盛土場Bまでの運搬、土のう袋の処分を含む 東工区: 運搬距離23.5km (片道) 西工区: 運搬距離23.5km (片道) ・外型枠 (キーストンプレート650×25×t1.2) -東工区68㎡、西工区68㎡ ・山形鋼 (L-50×50×6) -東工区704kg、西工区793kg ・吹付けコンクリート (t=20cm) -東工区67㎡、西工区66㎡ ・コンクリート吹付 (t=10cm) -東工区329㎡、西工区146㎡-のり面 (撤去、処分含む) 撤去数量-東工区10.4m3、西工区1.8m3</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>仮囲い費</td> <td>民家、一般道等と工事区域との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。</td> <td>枠構造一杭、支柱、骨組 (単管パイプ) 仮囲い-高さ3.0m×支柱間隔2.0m 東工区-設置延長L=20.5m×51.0ヶ月 (設置・撤去) 西工区-設置延長L=64.5m×42.3ヶ月 (設置・撤去)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土砂流出防止柵費 (盛土のり面用)</td> <td>田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td> <td>本線土工部 設置延長78.7m×5.0ヶ月</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土砂流出防止柵費 (切土のり面用)</td> <td>河川に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td> <td>工事用仮橋工 設置延長361.3m×52.2ヶ月</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5(8)及び2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。	・盛土のり面仕上げ-396㎡ 工事用道路は除く		河川締切費	工事の施工に伴って、支障となる河川・水路等を締切り・迂回する仮設物に要する費用をいう。	・大型土のう締切り-63袋 (工事用仮橋工A・B設置、撤去) 大型土のうの製作、設置、撤去、中詰め材料(新材)の坑外ずり仮置場(東工区)までの運搬、大型土のう袋の処分を含む 西工区: 運搬距離3.8km (片道)	○	火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬の取扱区分(火薬を使用するトンネル工事)-3.5ヶ月		箱抜き費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	・木製型わく-760.5㎡ ・箱抜き補強材の設置-16.73t ・既設支保工の切断撤去-20.75t	○	インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	・木製型わく-2,547㎡		坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	・土のう (62cm×48cm) -東工区4843袋、西工区6088袋 現場発生土を使用した土のうの製作、設置、撤去、中詰め材料の自工区外盛土場Bまでの運搬、土のう袋の処分を含む 東工区: 運搬距離23.5km (片道) 西工区: 運搬距離23.5km (片道) ・外型枠 (キーストンプレート650×25×t1.2) -東工区68㎡、西工区68㎡ ・山形鋼 (L-50×50×6) -東工区704kg、西工区793kg ・吹付けコンクリート (t=20cm) -東工区67㎡、西工区66㎡ ・コンクリート吹付 (t=10cm) -東工区329㎡、西工区146㎡-のり面 (撤去、処分含む) 撤去数量-東工区10.4m3、西工区1.8m3	○	仮囲い費	民家、一般道等と工事区域との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。	枠構造一杭、支柱、骨組 (単管パイプ) 仮囲い-高さ3.0m×支柱間隔2.0m 東工区-設置延長L=20.5m×51.0ヶ月 (設置・撤去) 西工区-設置延長L=64.5m×42.3ヶ月 (設置・撤去)	○	土砂流出防止柵費 (盛土のり面用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	本線土工部 設置延長78.7m×5.0ヶ月	○	土砂流出防止柵費 (切土のり面用)	河川に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	工事用仮橋工 設置延長361.3m×52.2ヶ月	○	訂正
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																																
のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5(8)及び2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。	・盛土のり面仕上げ-396㎡ 工事用道路は除く																																																																																	
河川締切費	工事の施工に伴って、支障となる河川・水路等を締切り・迂回する仮設物に要する費用をいう。	・大型土のう締切り-63袋 (工事用仮橋工A・B設置、撤去)	○																																																																																
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬の取扱区分(火薬を使用するトンネル工事)-3.5ヶ月																																																																																	
箱抜き費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	・木製型わく-760.5㎡ ・箱抜き補強材の設置-16.73t ・既設支保工の切断撤去-20.75t	○																																																																																
インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	・木製型わく-2,547㎡																																																																																	
坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	・土のう (62cm×48cm) -東工区4843袋、西工区6088袋 ・外型枠 (キーストンプレート650×25×t1.2) -東工区68㎡、西工区68㎡ ・山形鋼 (L-50×50×6) -東工区704kg、西工区793kg ・吹付けコンクリート (t=20cm) -東工区67㎡、西工区66㎡ ・コンクリート吹付 (t=10cm) -東工区329㎡、西工区146㎡-のり面 (撤去、処分含む) 撤去数量-東工区10.4m3、西工区1.8m3	○																																																																																
仮囲い費	民家、一般道等と工事区域との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。	枠構造一杭、支柱、骨組 (単管パイプ) 仮囲い-高さ3.0m×支柱間隔2.0m 東工区-設置延長L=20.5m×51.0ヶ月 (設置・撤去) 西工区-設置延長L=64.5m×42.3ヶ月 (設置・撤去)	○																																																																																
土砂流出防止柵費 (盛土のり面用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	本線土工部 設置延長78.7m×5.0ヶ月	○																																																																																
土砂流出防止柵費 (切土のり面用)	河川に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	工事用仮橋工 設置延長361.3m×52.2ヶ月	○																																																																																
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																																
のり面仕上げ費	共通仕様書2-6-5(8)及び2-7-5(6)に規定する作業に要する費用をいう。	・盛土のり面仕上げ-396㎡ 工事用道路は除く																																																																																	
河川締切費	工事の施工に伴って、支障となる河川・水路等を締切り・迂回する仮設物に要する費用をいう。	・大型土のう締切り-63袋 (工事用仮橋工A・B設置、撤去) 大型土のうの製作、設置、撤去、中詰め材料(新材)の坑外ずり仮置場(東工区)までの運搬、大型土のう袋の処分を含む 西工区: 運搬距離3.8km (片道)	○																																																																																
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬の取扱区分(火薬を使用するトンネル工事)-3.5ヶ月																																																																																	
箱抜き費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	・木製型わく-760.5㎡ ・箱抜き補強材の設置-16.73t ・既設支保工の切断撤去-20.75t	○																																																																																
インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	・木製型わく-2,547㎡																																																																																	
坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	・土のう (62cm×48cm) -東工区4843袋、西工区6088袋 現場発生土を使用した土のうの製作、設置、撤去、中詰め材料の自工区外盛土場Bまでの運搬、土のう袋の処分を含む 東工区: 運搬距離23.5km (片道) 西工区: 運搬距離23.5km (片道) ・外型枠 (キーストンプレート650×25×t1.2) -東工区68㎡、西工区68㎡ ・山形鋼 (L-50×50×6) -東工区704kg、西工区793kg ・吹付けコンクリート (t=20cm) -東工区67㎡、西工区66㎡ ・コンクリート吹付 (t=10cm) -東工区329㎡、西工区146㎡-のり面 (撤去、処分含む) 撤去数量-東工区10.4m3、西工区1.8m3	○																																																																																
仮囲い費	民家、一般道等と工事区域との境に設置する仮囲い工に要する費用をいう。	枠構造一杭、支柱、骨組 (単管パイプ) 仮囲い-高さ3.0m×支柱間隔2.0m 東工区-設置延長L=20.5m×51.0ヶ月 (設置・撤去) 西工区-設置延長L=64.5m×42.3ヶ月 (設置・撤去)	○																																																																																
土砂流出防止柵費 (盛土のり面用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	本線土工部 設置延長78.7m×5.0ヶ月	○																																																																																
土砂流出防止柵費 (切土のり面用)	河川に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	工事用仮橋工 設置延長361.3m×52.2ヶ月	○																																																																																

対象	誤		正		備考																																																																					
割掛対象表参考内訳書 【準備工事費】 工事用道路費	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="552 226 700 254">【準備工事費】</th> <th data-bbox="700 226 982 254">割掛対象表の項目名称</th> <th data-bbox="982 226 1507 254">工事の内容</th> <th data-bbox="1507 226 1561 254">数量内訳 (参考)</th> <th data-bbox="1561 226 1605 254">図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="552 254 700 428">工事用道路費</td> <td data-bbox="700 254 982 428">現場内に新設する工事用道路の整備に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="982 254 1507 428">           ・鳥屋山トンネル東坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=34m、砂利道t=20cm            ・鳥屋山トンネル西坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=97m、砂利道t=20cm            設置・撤去・坑外ずり仮置場(東工区)への運搬を含む         </td> <td data-bbox="1507 254 1561 428">○</td> <td data-bbox="1561 254 1605 428"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="552 428 700 562">工事用道路維持費</td> <td data-bbox="700 428 982 562">工事用道路(本線内工事用道路を除く)及び工事用仮栈橋の散水に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="982 428 1507 562">           軽沢工事用道路            ・散水車5,500L 27.0ヶ月 冬季休止期間は除く            工事用仮栈橋A            ・散水車5,500L 19.0ヶ月 冬季休止期間は除く         </td> <td data-bbox="1507 428 1561 562"></td> <td data-bbox="1561 428 1605 562"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="552 562 700 667">工事車両泥落し装置費</td> <td data-bbox="700 562 982 667">泥落し装置に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="982 562 1507 667">           湿式-2基            設置期間 39.0ヶ月 東工区            設置期間 30.0ヶ月 西工区         </td> <td data-bbox="1507 562 1561 667">○</td> <td data-bbox="1561 562 1605 667"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="552 667 700 1241">坑外ずり仮置き場整備費</td> <td data-bbox="700 667 982 1241">重金属を含有するトンネルずりを坑外に仮置きする地表面に対して、滲出水の発生防止や下部地盤への浸透防止のためのアスファルト舗装や排水設備の設置・撤去に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="982 667 1507 1241">           東工区            ・不陸整正 632.1m<sup>2</sup>            ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 632.1m<sup>2</sup>            ・再生切込砕石路盤工 t=10cm 632.1m<sup>2</sup>            ・用排水溝 PuL・0.30・0.30 113.9m            ・用排水溝 Dv-Pu-0.30・0.30(10) 2.6m            ・集水ます Dc<sup>-</sup>-0.50・0.50・0.50 4箇所            ・敷鉄板 22*1524*6096 2枚 設置期間36.9ヶ月            ・沈砂池 コンクリートシール 3.1m<sup>3</sup>            再生切込砕石路盤工は設置のみとする。            再生切込砕石路盤工以外は設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む             西工区            ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 507.2m<sup>2</sup>            ・アスファルト縁石 102.7m            ・ノッチタンク1.0m<sup>3</sup> 設置期間28.1ヶ月            設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む         </td> <td data-bbox="1507 667 1561 1241">○</td> <td data-bbox="1561 667 1605 1241"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="552 1241 700 1346">坑内外仮設備保守費</td> <td data-bbox="700 1241 982 1346">坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="982 1241 1507 1346">           保守する期間 36.9ヶ月 東工区            保守する期間 28.1ヶ月 西工区            掘削開始から下半完了まで         </td> <td data-bbox="1507 1241 1561 1346"></td> <td data-bbox="1561 1241 1605 1346"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="552 1346 700 1514">坑内仮排水設備費</td> <td data-bbox="700 1346 982 1514">坑内仮排水用の排水溝または素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。</td> <td data-bbox="982 1346 1507 1514">           東工区            強制排水 排水ポンプ2.6kw 6台 設備期間 38.9ヶ月            ガス管白ネジ付φ65mm 1,575m             西工区            排水ポンプ 2台 設置期間 30.1ヶ月 素掘り側溝 1,007m         </td> <td data-bbox="1507 1346 1561 1514"></td> <td data-bbox="1561 1346 1605 1514"></td> </tr> </tbody> </table>		【準備工事費】	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事用道路費	現場内に新設する工事用道路の整備に要する費用をいう。	・鳥屋山トンネル東坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=34m、砂利道t=20cm ・鳥屋山トンネル西坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=97m、砂利道t=20cm 設置・撤去・坑外ずり仮置場(東工区)への運搬を含む	○		工事用道路維持費	工事用道路(本線内工事用道路を除く)及び工事用仮栈橋の散水に要する費用をいう。	軽沢工事用道路 ・散水車5,500L 27.0ヶ月 冬季休止期間は除く 工事用仮栈橋A ・散水車5,500L 19.0ヶ月 冬季休止期間は除く			工事車両泥落し装置費	泥落し装置に要する費用をいう。	湿式-2基 設置期間 39.0ヶ月 東工区 設置期間 30.0ヶ月 西工区	○		坑外ずり仮置き場整備費	重金属を含有するトンネルずりを坑外に仮置きする地表面に対して、滲出水の発生防止や下部地盤への浸透防止のためのアスファルト舗装や排水設備の設置・撤去に要する費用をいう。	東工区 ・不陸整正 632.1m <sup>2</sup> ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 632.1m <sup>2</sup> ・再生切込砕石路盤工 t=10cm 632.1m <sup>2</sup> ・用排水溝 PuL・0.30・0.30 113.9m ・用排水溝 Dv-Pu-0.30・0.30(10) 2.6m ・集水ます Dc <sup>-</sup> -0.50・0.50・0.50 4箇所 ・敷鉄板 22*1524*6096 2枚 設置期間36.9ヶ月 ・沈砂池 コンクリートシール 3.1m <sup>3</sup> 再生切込砕石路盤工は設置のみとする。 再生切込砕石路盤工以外は設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む  西工区 ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 507.2m <sup>2</sup> ・アスファルト縁石 102.7m ・ノッチタンク1.0m <sup>3</sup> 設置期間28.1ヶ月 設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む	○		坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	保守する期間 36.9ヶ月 東工区 保守する期間 28.1ヶ月 西工区 掘削開始から下半完了まで			坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝または素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	東工区 強制排水 排水ポンプ2.6kw 6台 設備期間 38.9ヶ月 ガス管白ネジ付φ65mm 1,575m  西工区 排水ポンプ 2台 設置期間 30.1ヶ月 素掘り側溝 1,007m			<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1659 226 1807 254">【準備工事費】</th> <th data-bbox="1807 226 2089 254">割掛対象表の項目名称</th> <th data-bbox="2089 226 2614 254">工事の内容</th> <th data-bbox="2614 226 2697 254">数量内訳 (参考)</th> <th data-bbox="2697 226 2742 254">図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1659 254 1807 464">工事用道路費</td> <td data-bbox="1807 254 2089 464">現場内に新設する工事用道路の整備に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="2089 254 2614 464">           ・鳥屋山トンネル東坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=34m、砂利道t=20cm            ・鳥屋山トンネル西坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=97m、砂利道t=20cm            使用材料は切込砕石(0-40)とする。            設置・撤去・坑外ずり仮置場(東工区)への運搬を含む         </td> <td data-bbox="2614 254 2697 464">○</td> <td data-bbox="2697 254 2742 464"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 464 1807 598">工事用道路維持費</td> <td data-bbox="1807 464 2089 598">工事用道路(本線内工事用道路を除く)及び工事用仮栈橋の散水に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="2089 464 2614 598">           軽沢工事用道路            ・散水車5,500L 27.0ヶ月 冬季休止期間は除く            工事用仮栈橋A            ・散水車5,500L 19.0ヶ月 冬季休止期間は除く         </td> <td data-bbox="2614 464 2697 598"></td> <td data-bbox="2697 464 2742 598"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 598 1807 703">工事車両泥落し装置費</td> <td data-bbox="1807 598 2089 703">泥落し装置に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="2089 598 2614 703">           湿式-2基            設置期間 39.0ヶ月 東工区            設置期間 30.0ヶ月 西工区         </td> <td data-bbox="2614 598 2697 703">○</td> <td data-bbox="2697 598 2742 703"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 703 1807 1297">坑外ずり仮置き場整備費</td> <td data-bbox="1807 703 2089 1297">重金属を含有するトンネルずりを坑外に仮置きする地表面に対して、滲出水の発生防止や下部地盤への浸透防止のためのアスファルト舗装や排水設備の設置・撤去に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="2089 703 2614 1297">           東工区            ・不陸整正 632.1m<sup>2</sup>            ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 632.1m<sup>2</sup>            ・再生切込砕石路盤工 t=10cm 632.1m<sup>2</sup>            ・用排水溝 PuL・0.30・0.30 113.9m            ・用排水溝 Dv-Pu-0.30・0.30(10) 2.6m            ・集水ます Dc<sup>-</sup>-0.50・0.50・0.50 4箇所            ・敷鉄板 22*1524*6096 2枚 設置期間36.9ヶ月            ・沈砂池 コンクリートシール 3.1m<sup>3</sup>            再生切込砕石路盤工は設置のみとする。            再生切込砕石路盤工以外は設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む             西工区            ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 507.2m<sup>2</sup>            ・アスファルト縁石 102.7m            ・ノッチタンク1.0m<sup>3</sup> 設置期間28.1ヶ月            設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む         </td> <td data-bbox="2614 703 2697 1297">○</td> <td data-bbox="2697 703 2742 1297"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1297 1807 1402">坑内外仮設備保守費</td> <td data-bbox="1807 1297 2089 1402">坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。</td> <td data-bbox="2089 1297 2614 1402">           保守する期間 36.9ヶ月 東工区            保守する期間 28.1ヶ月 西工区            掘削開始から下半完了まで         </td> <td data-bbox="2614 1297 2697 1402"></td> <td data-bbox="2697 1297 2742 1402"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1402 1807 1537">坑内仮排水設備費</td> <td data-bbox="1807 1402 2089 1537">坑内仮排水用の排水溝または素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。</td> <td data-bbox="2089 1402 2614 1537">           東工区            強制排水 排水ポンプ2.6kw 6台 設備期間 38.9ヶ月            ガス管白ネジ付φ65mm 1,575m             西工区         </td> <td data-bbox="2614 1402 2697 1537"></td> <td data-bbox="2697 1402 2742 1537"></td> </tr> </tbody> </table>	【準備工事費】	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事用道路費	現場内に新設する工事用道路の整備に要する費用をいう。	・鳥屋山トンネル東坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=34m、砂利道t=20cm ・鳥屋山トンネル西坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=97m、砂利道t=20cm 使用材料は切込砕石(0-40)とする。 設置・撤去・坑外ずり仮置場(東工区)への運搬を含む	○		工事用道路維持費	工事用道路(本線内工事用道路を除く)及び工事用仮栈橋の散水に要する費用をいう。	軽沢工事用道路 ・散水車5,500L 27.0ヶ月 冬季休止期間は除く 工事用仮栈橋A ・散水車5,500L 19.0ヶ月 冬季休止期間は除く			工事車両泥落し装置費	泥落し装置に要する費用をいう。	湿式-2基 設置期間 39.0ヶ月 東工区 設置期間 30.0ヶ月 西工区	○		坑外ずり仮置き場整備費	重金属を含有するトンネルずりを坑外に仮置きする地表面に対して、滲出水の発生防止や下部地盤への浸透防止のためのアスファルト舗装や排水設備の設置・撤去に要する費用をいう。	東工区 ・不陸整正 632.1m <sup>2</sup> ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 632.1m <sup>2</sup> ・再生切込砕石路盤工 t=10cm 632.1m <sup>2</sup> ・用排水溝 PuL・0.30・0.30 113.9m ・用排水溝 Dv-Pu-0.30・0.30(10) 2.6m ・集水ます Dc <sup>-</sup> -0.50・0.50・0.50 4箇所 ・敷鉄板 22*1524*6096 2枚 設置期間36.9ヶ月 ・沈砂池 コンクリートシール 3.1m <sup>3</sup> 再生切込砕石路盤工は設置のみとする。 再生切込砕石路盤工以外は設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む  西工区 ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 507.2m <sup>2</sup> ・アスファルト縁石 102.7m ・ノッチタンク1.0m <sup>3</sup> 設置期間28.1ヶ月 設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む	○		坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	保守する期間 36.9ヶ月 東工区 保守する期間 28.1ヶ月 西工区 掘削開始から下半完了まで			坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝または素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	東工区 強制排水 排水ポンプ2.6kw 6台 設備期間 38.9ヶ月 ガス管白ネジ付φ65mm 1,575m  西工区			訂正
【準備工事費】	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																						
工事用道路費	現場内に新設する工事用道路の整備に要する費用をいう。	・鳥屋山トンネル東坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=34m、砂利道t=20cm ・鳥屋山トンネル西坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=97m、砂利道t=20cm 設置・撤去・坑外ずり仮置場(東工区)への運搬を含む	○																																																																							
工事用道路維持費	工事用道路(本線内工事用道路を除く)及び工事用仮栈橋の散水に要する費用をいう。	軽沢工事用道路 ・散水車5,500L 27.0ヶ月 冬季休止期間は除く 工事用仮栈橋A ・散水車5,500L 19.0ヶ月 冬季休止期間は除く																																																																								
工事車両泥落し装置費	泥落し装置に要する費用をいう。	湿式-2基 設置期間 39.0ヶ月 東工区 設置期間 30.0ヶ月 西工区	○																																																																							
坑外ずり仮置き場整備費	重金属を含有するトンネルずりを坑外に仮置きする地表面に対して、滲出水の発生防止や下部地盤への浸透防止のためのアスファルト舗装や排水設備の設置・撤去に要する費用をいう。	東工区 ・不陸整正 632.1m <sup>2</sup> ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 632.1m <sup>2</sup> ・再生切込砕石路盤工 t=10cm 632.1m <sup>2</sup> ・用排水溝 PuL・0.30・0.30 113.9m ・用排水溝 Dv-Pu-0.30・0.30(10) 2.6m ・集水ます Dc <sup>-</sup> -0.50・0.50・0.50 4箇所 ・敷鉄板 22*1524*6096 2枚 設置期間36.9ヶ月 ・沈砂池 コンクリートシール 3.1m <sup>3</sup> 再生切込砕石路盤工は設置のみとする。 再生切込砕石路盤工以外は設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む  西工区 ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 507.2m <sup>2</sup> ・アスファルト縁石 102.7m ・ノッチタンク1.0m <sup>3</sup> 設置期間28.1ヶ月 設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む	○																																																																							
坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	保守する期間 36.9ヶ月 東工区 保守する期間 28.1ヶ月 西工区 掘削開始から下半完了まで																																																																								
坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝または素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	東工区 強制排水 排水ポンプ2.6kw 6台 設備期間 38.9ヶ月 ガス管白ネジ付φ65mm 1,575m  西工区 排水ポンプ 2台 設置期間 30.1ヶ月 素掘り側溝 1,007m																																																																								
【準備工事費】	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																						
工事用道路費	現場内に新設する工事用道路の整備に要する費用をいう。	・鳥屋山トンネル東坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=34m、砂利道t=20cm ・鳥屋山トンネル西坑口側工事用道路 幅員W=5m、L=97m、砂利道t=20cm 使用材料は切込砕石(0-40)とする。 設置・撤去・坑外ずり仮置場(東工区)への運搬を含む	○																																																																							
工事用道路維持費	工事用道路(本線内工事用道路を除く)及び工事用仮栈橋の散水に要する費用をいう。	軽沢工事用道路 ・散水車5,500L 27.0ヶ月 冬季休止期間は除く 工事用仮栈橋A ・散水車5,500L 19.0ヶ月 冬季休止期間は除く																																																																								
工事車両泥落し装置費	泥落し装置に要する費用をいう。	湿式-2基 設置期間 39.0ヶ月 東工区 設置期間 30.0ヶ月 西工区	○																																																																							
坑外ずり仮置き場整備費	重金属を含有するトンネルずりを坑外に仮置きする地表面に対して、滲出水の発生防止や下部地盤への浸透防止のためのアスファルト舗装や排水設備の設置・撤去に要する費用をいう。	東工区 ・不陸整正 632.1m <sup>2</sup> ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 632.1m <sup>2</sup> ・再生切込砕石路盤工 t=10cm 632.1m <sup>2</sup> ・用排水溝 PuL・0.30・0.30 113.9m ・用排水溝 Dv-Pu-0.30・0.30(10) 2.6m ・集水ます Dc <sup>-</sup> -0.50・0.50・0.50 4箇所 ・敷鉄板 22*1524*6096 2枚 設置期間36.9ヶ月 ・沈砂池 コンクリートシール 3.1m <sup>3</sup> 再生切込砕石路盤工は設置のみとする。 再生切込砕石路盤工以外は設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む  西工区 ・再生加熱アスファルト表層工 t=5cm 507.2m <sup>2</sup> ・アスファルト縁石 102.7m ・ノッチタンク1.0m <sup>3</sup> 設置期間28.1ヶ月 設置・撤去及び取壊し・運搬・処分費を含む	○																																																																							
坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	保守する期間 36.9ヶ月 東工区 保守する期間 28.1ヶ月 西工区 掘削開始から下半完了まで																																																																								
坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝または素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	東工区 強制排水 排水ポンプ2.6kw 6台 設備期間 38.9ヶ月 ガス管白ネジ付φ65mm 1,575m  西工区																																																																								

対象

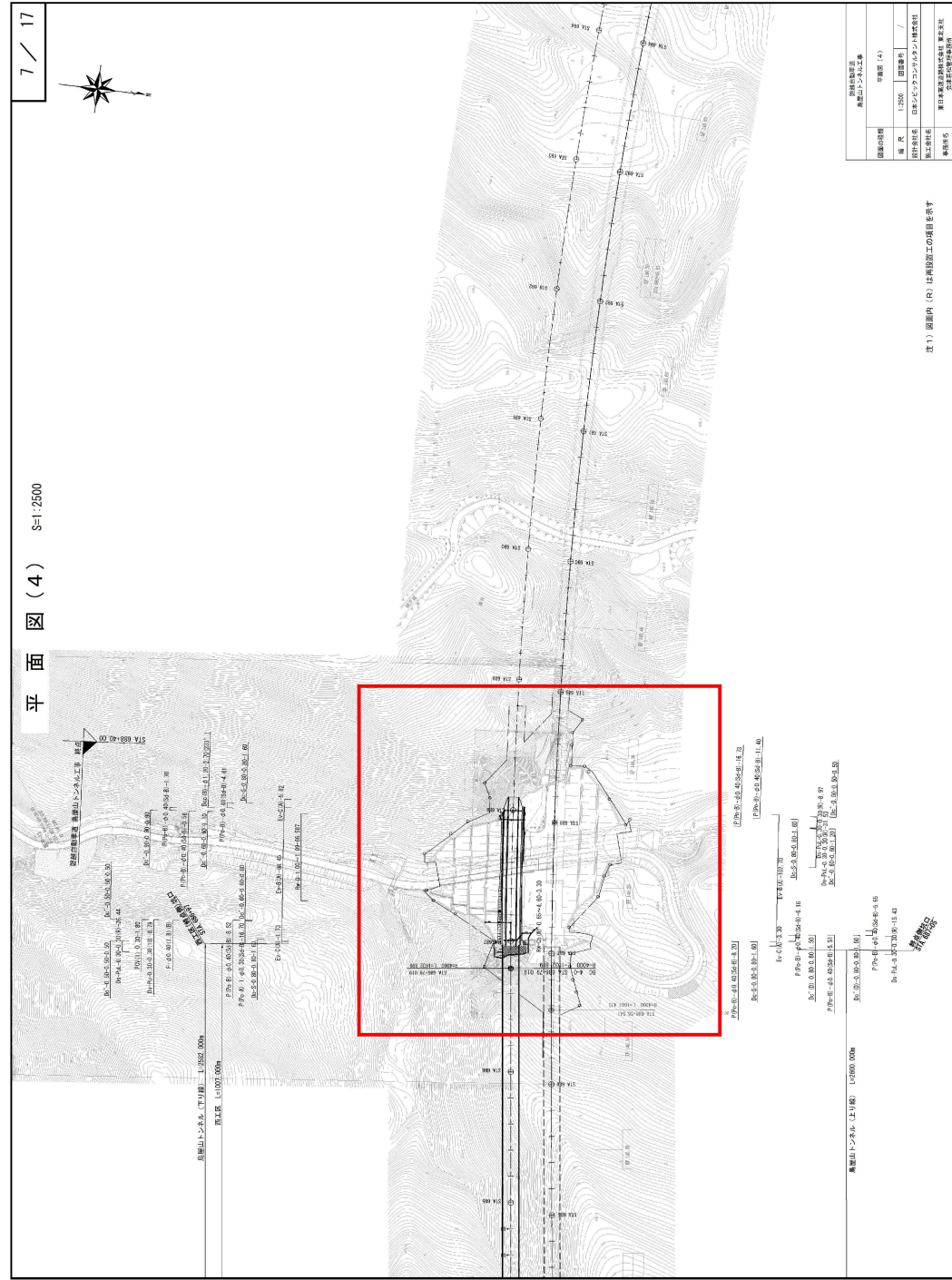
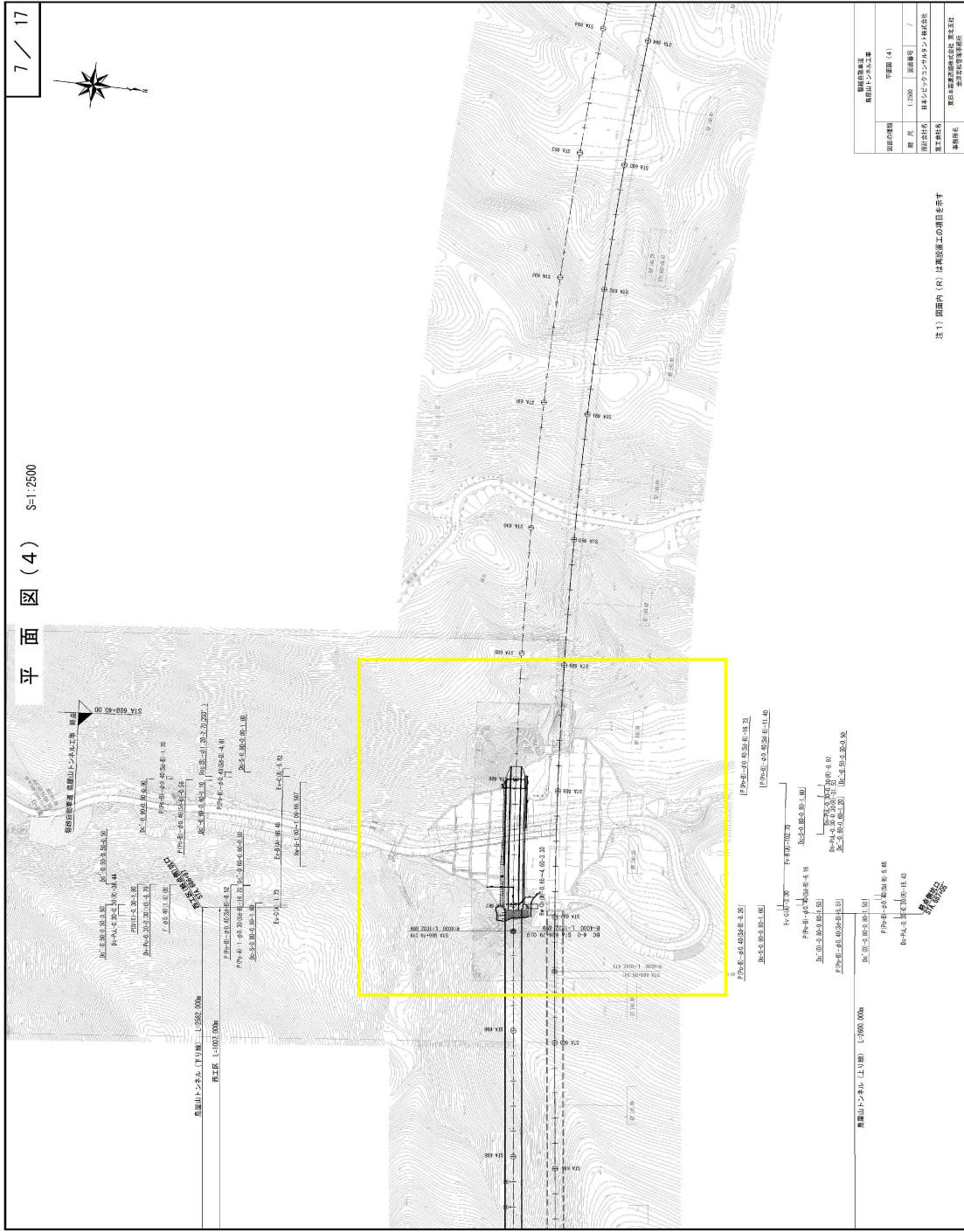
誤

正

備考

設計図

本線(7/17)  
平面図(4)

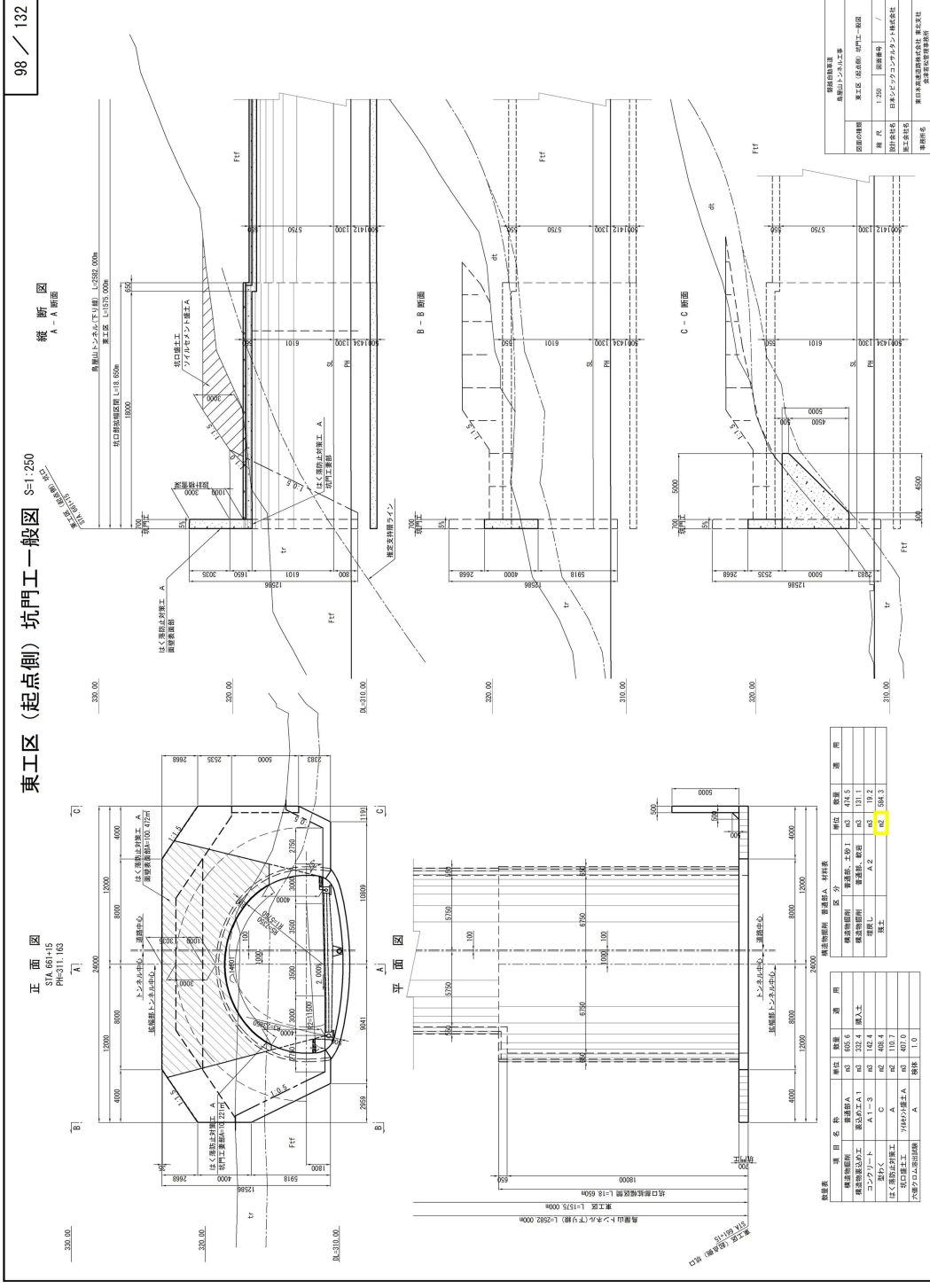


訂正

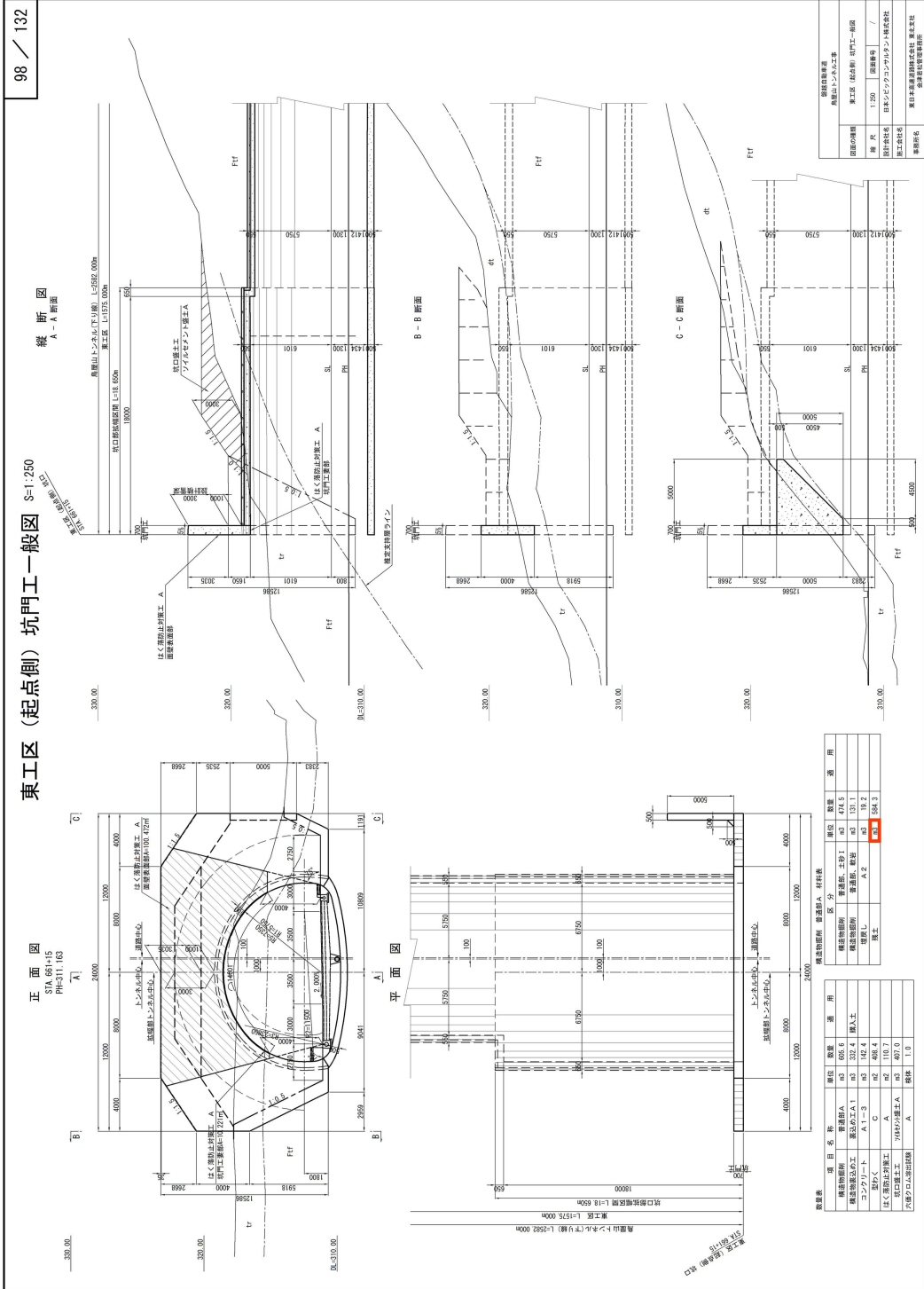


対象  
設計図

トンネル(98/132)  
東工区(起点側)坑門工一般図



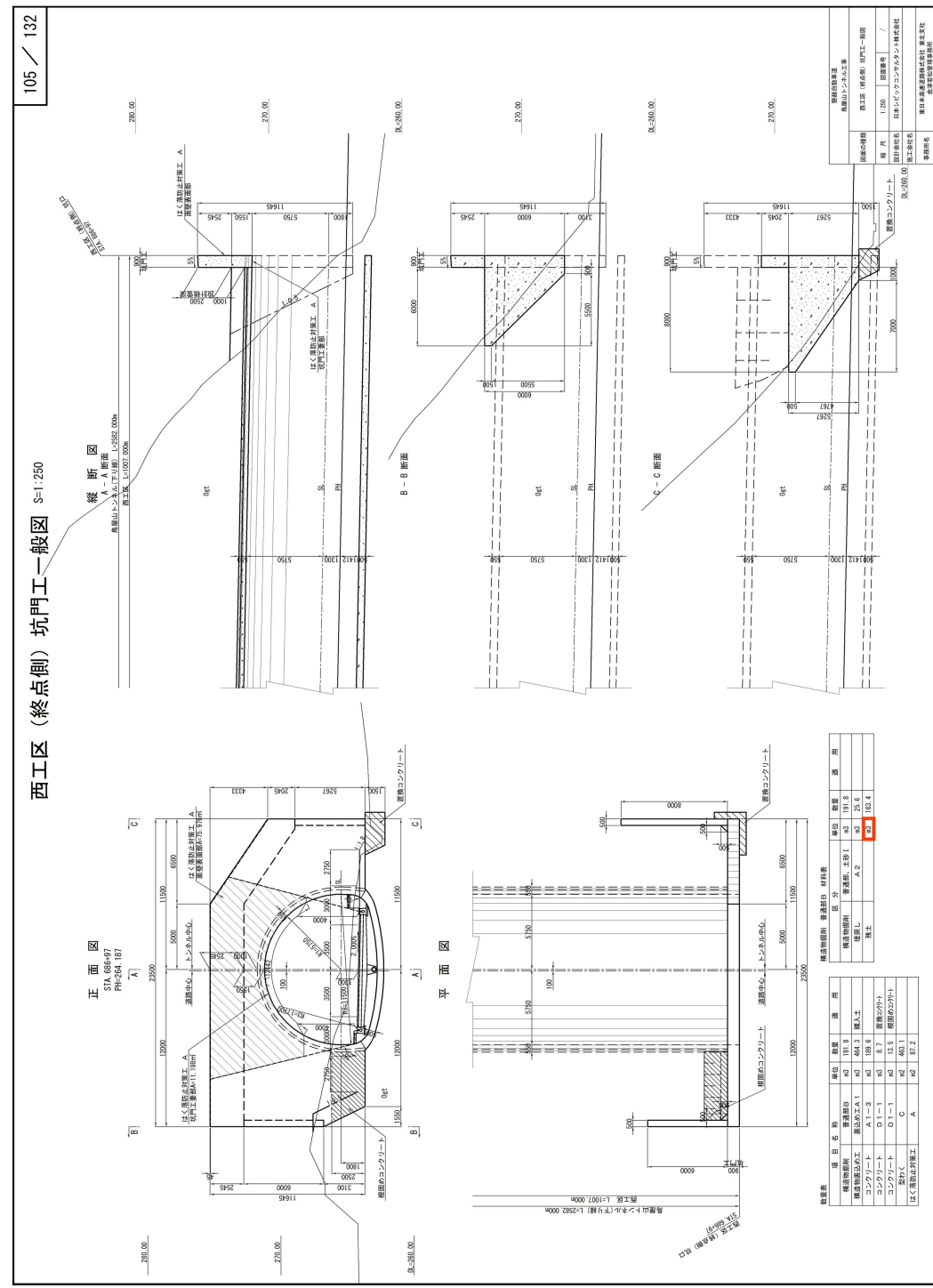
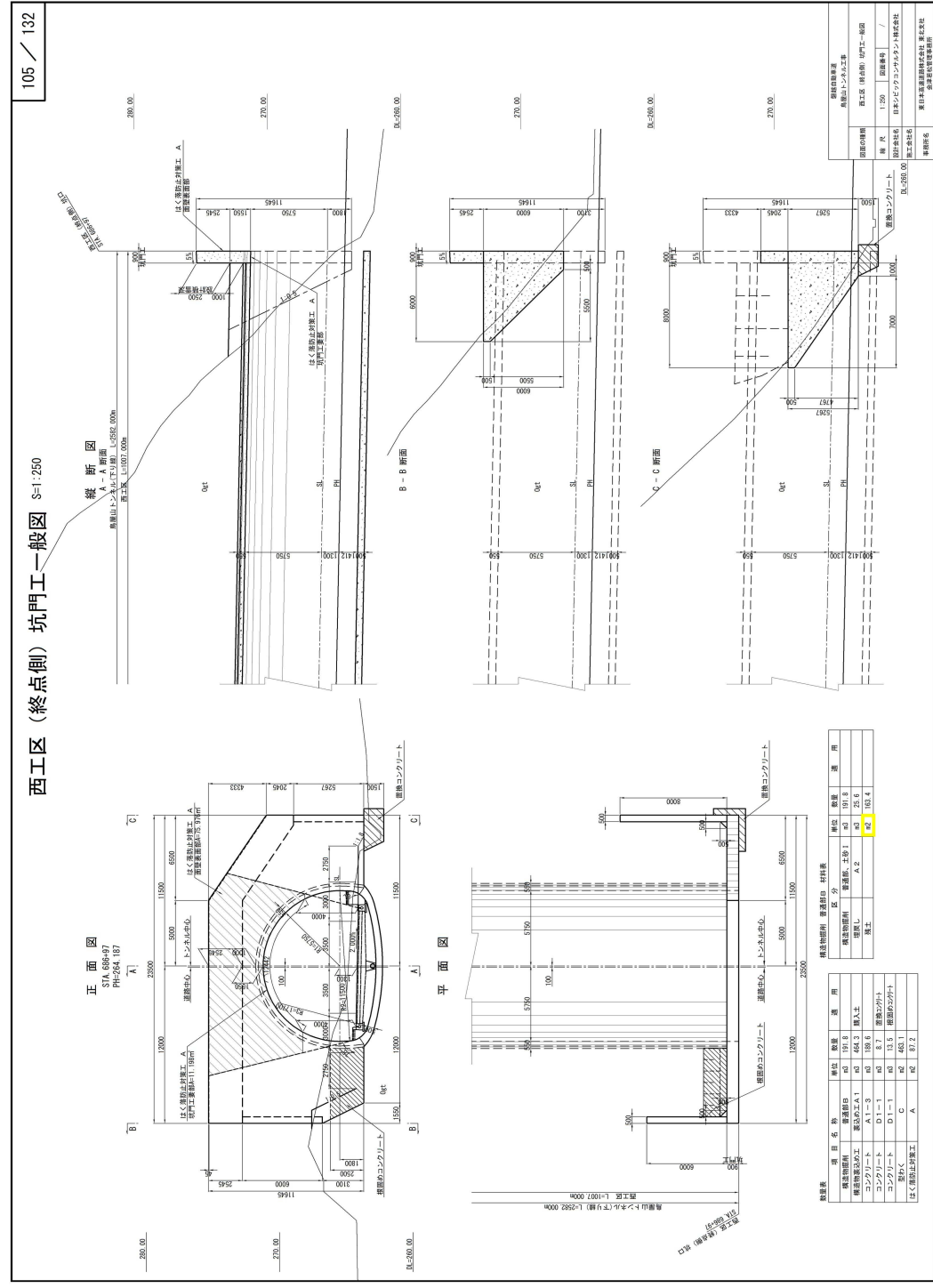
誤



正

備考  
訂正

対象  
設計図  
トンネル(105/132)  
西工区(終点側)坑門工一般図



備考  
訂正

対象

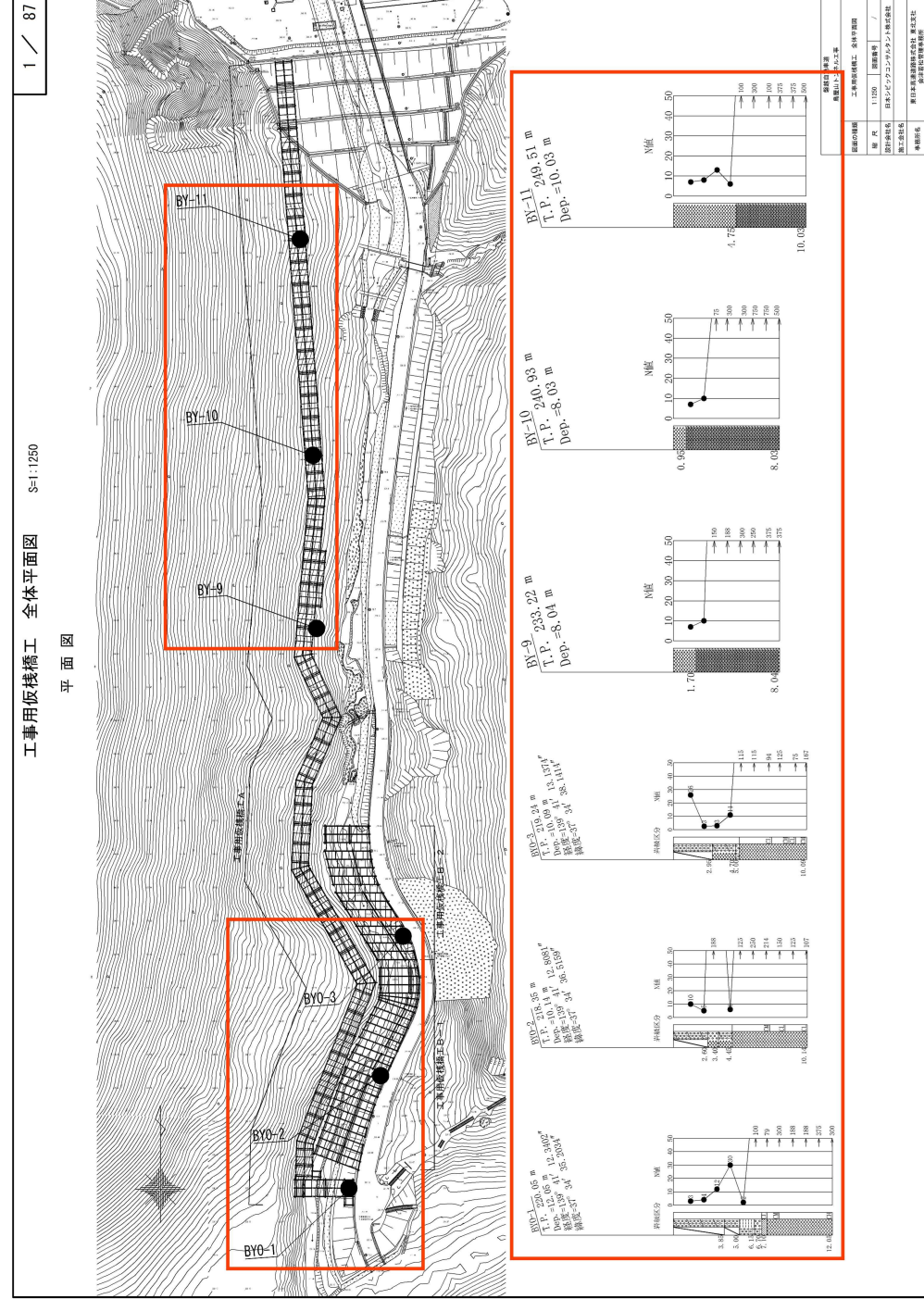
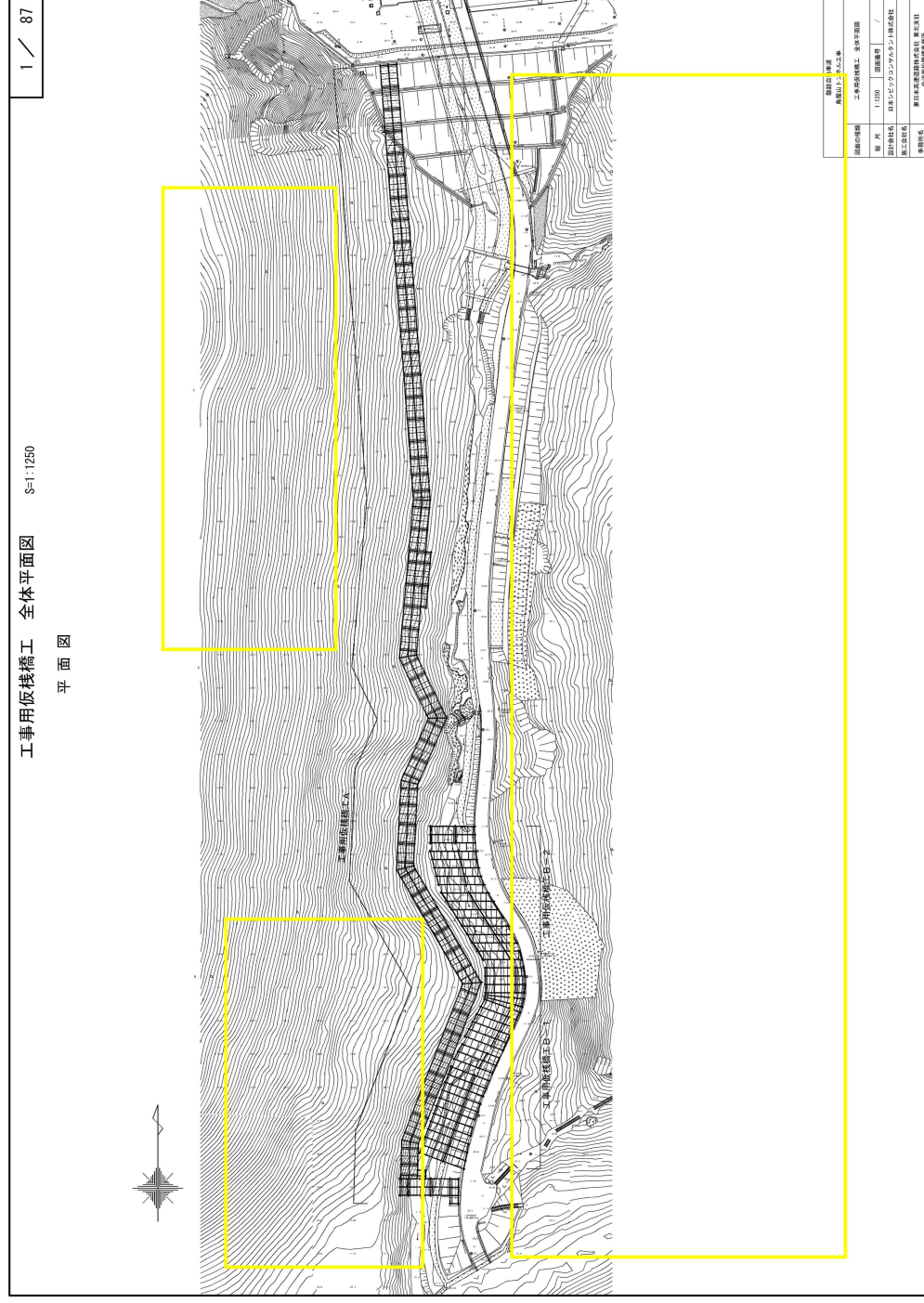
誤

正

備考

設計図

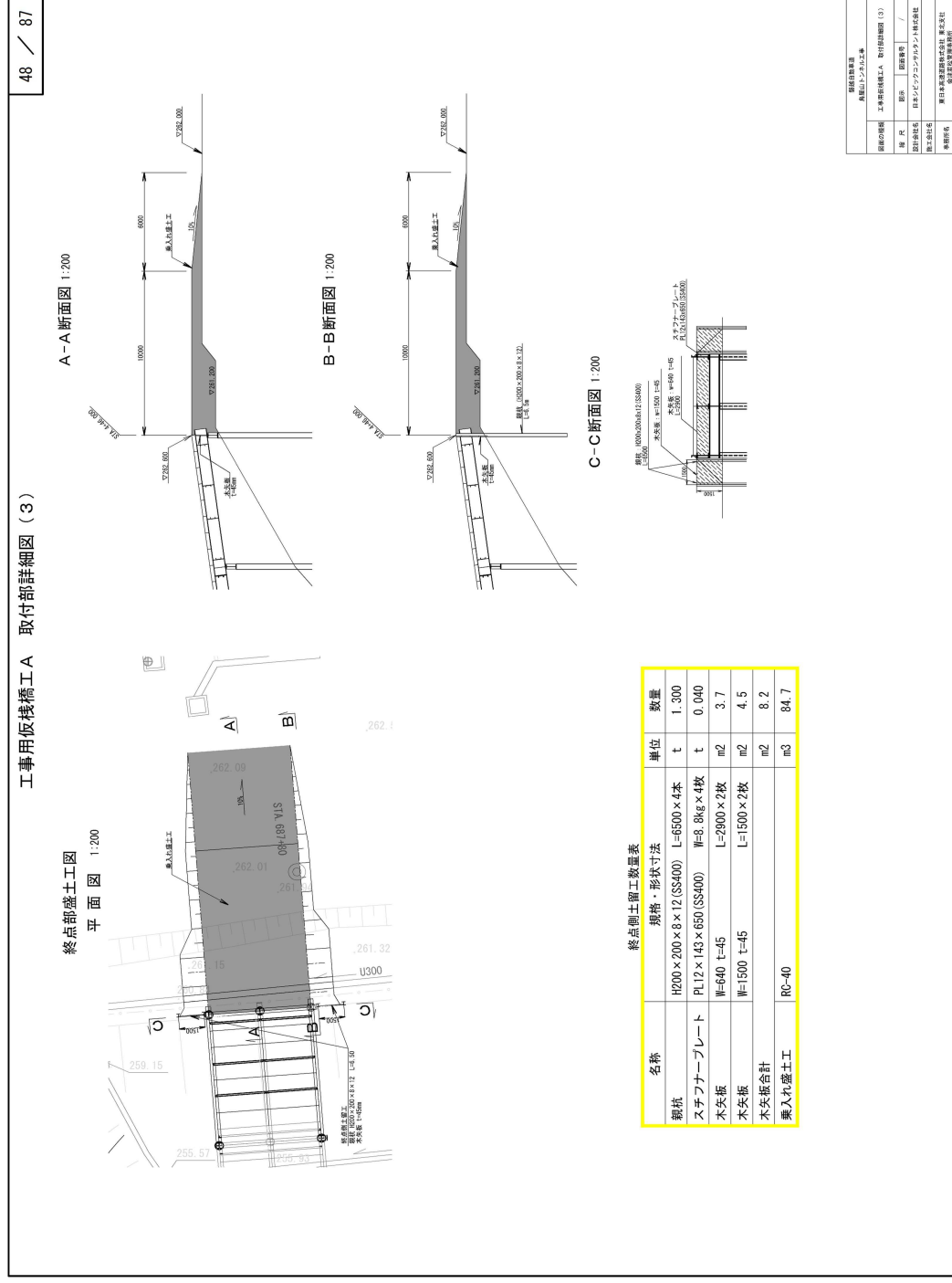
工事中仮橋(1/87)  
工事中仮橋工 全体平面図



訂正

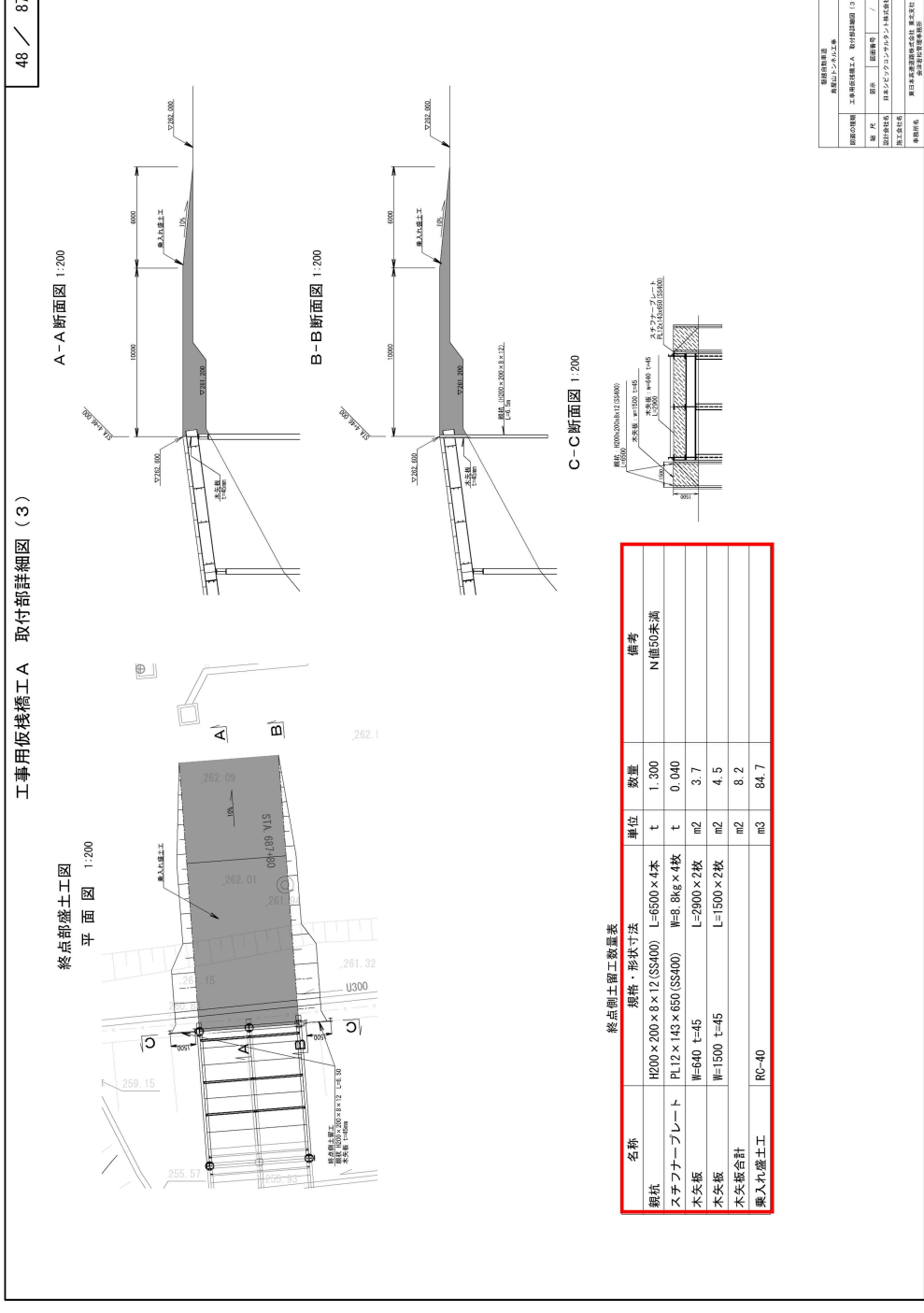
対象  
設計図

工事用仮栈橋(48/87)  
工事用仮栈橋工A 取付部詳細図(3)



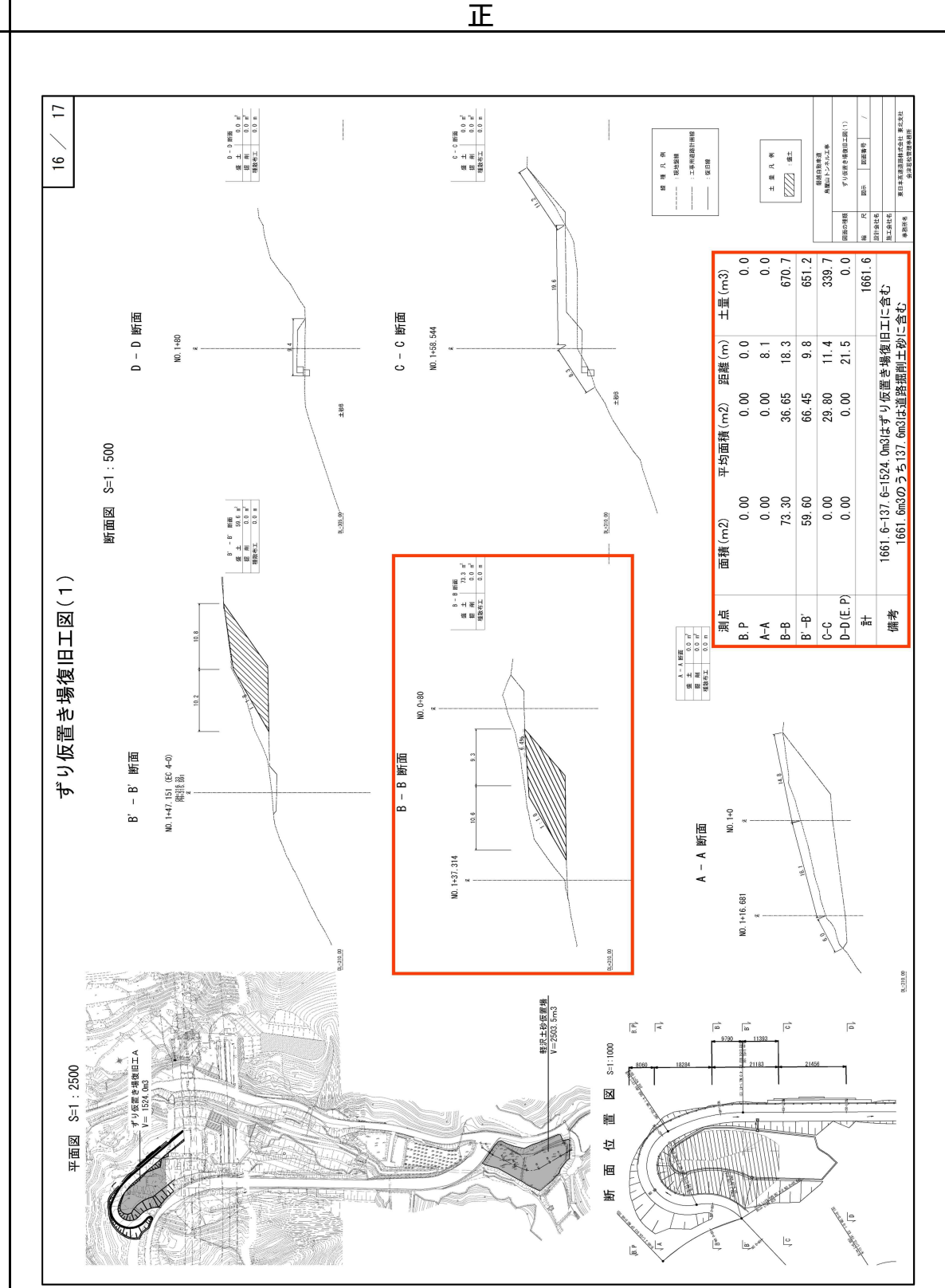
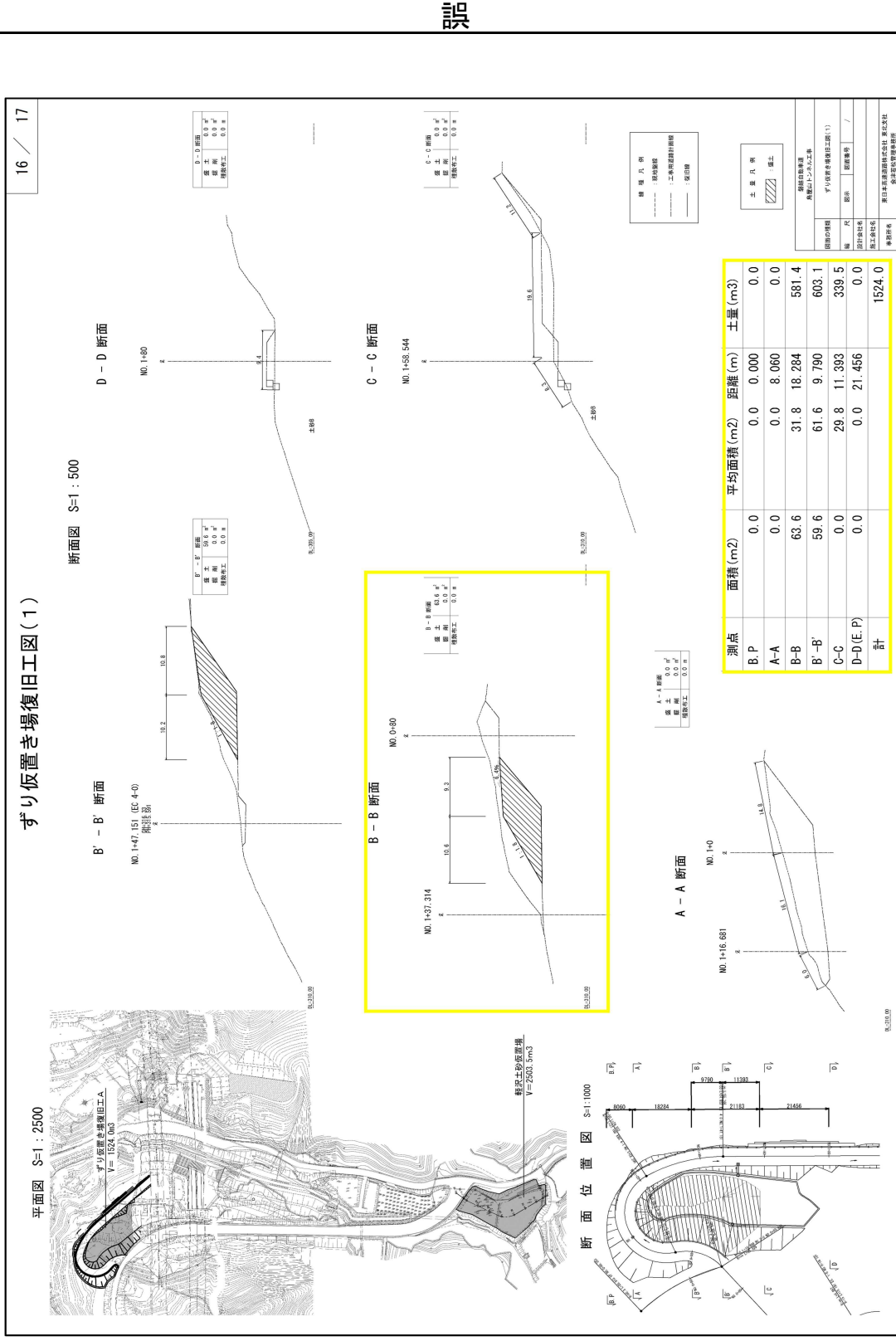
製

正



備考  
訂正

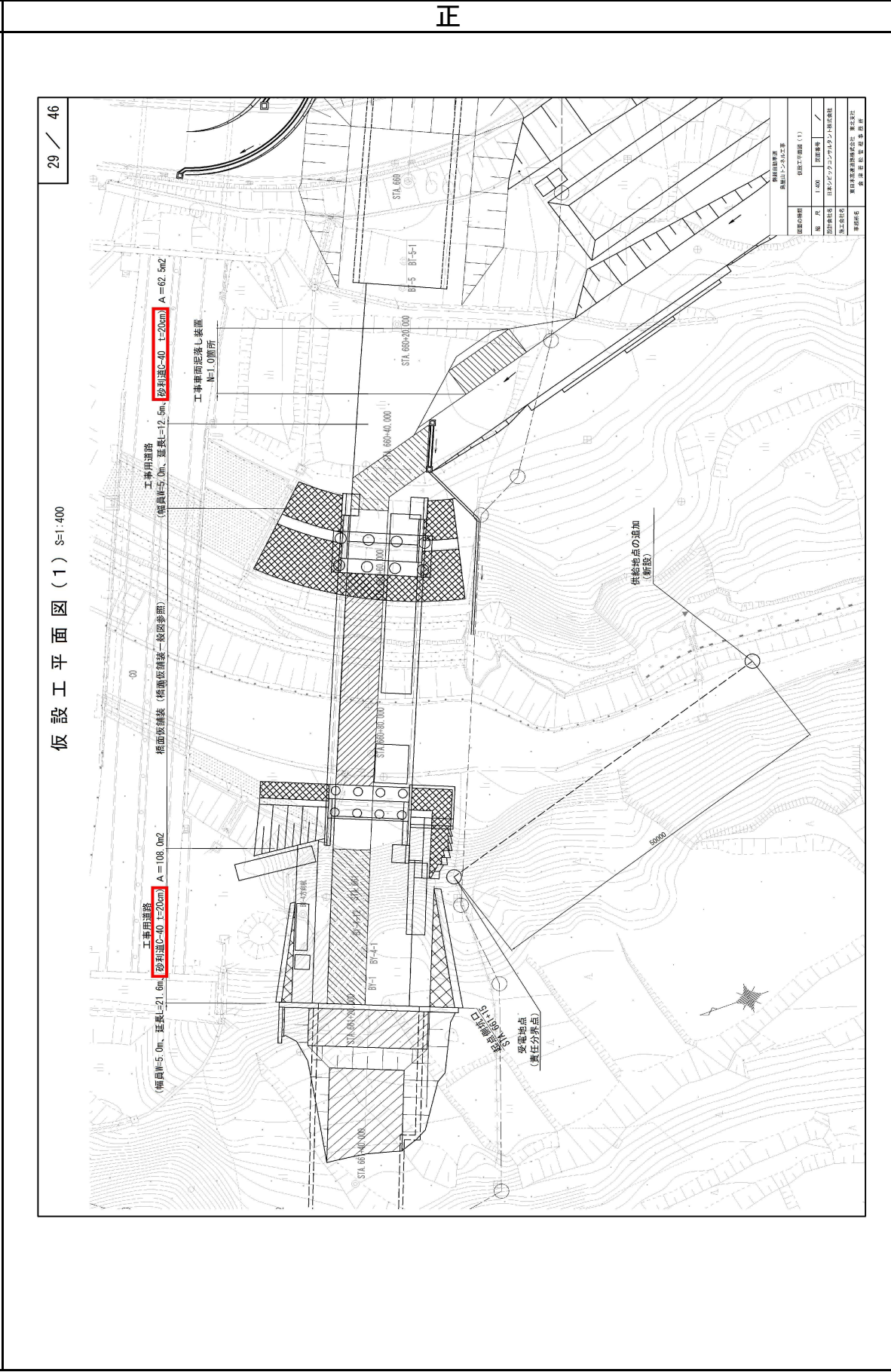
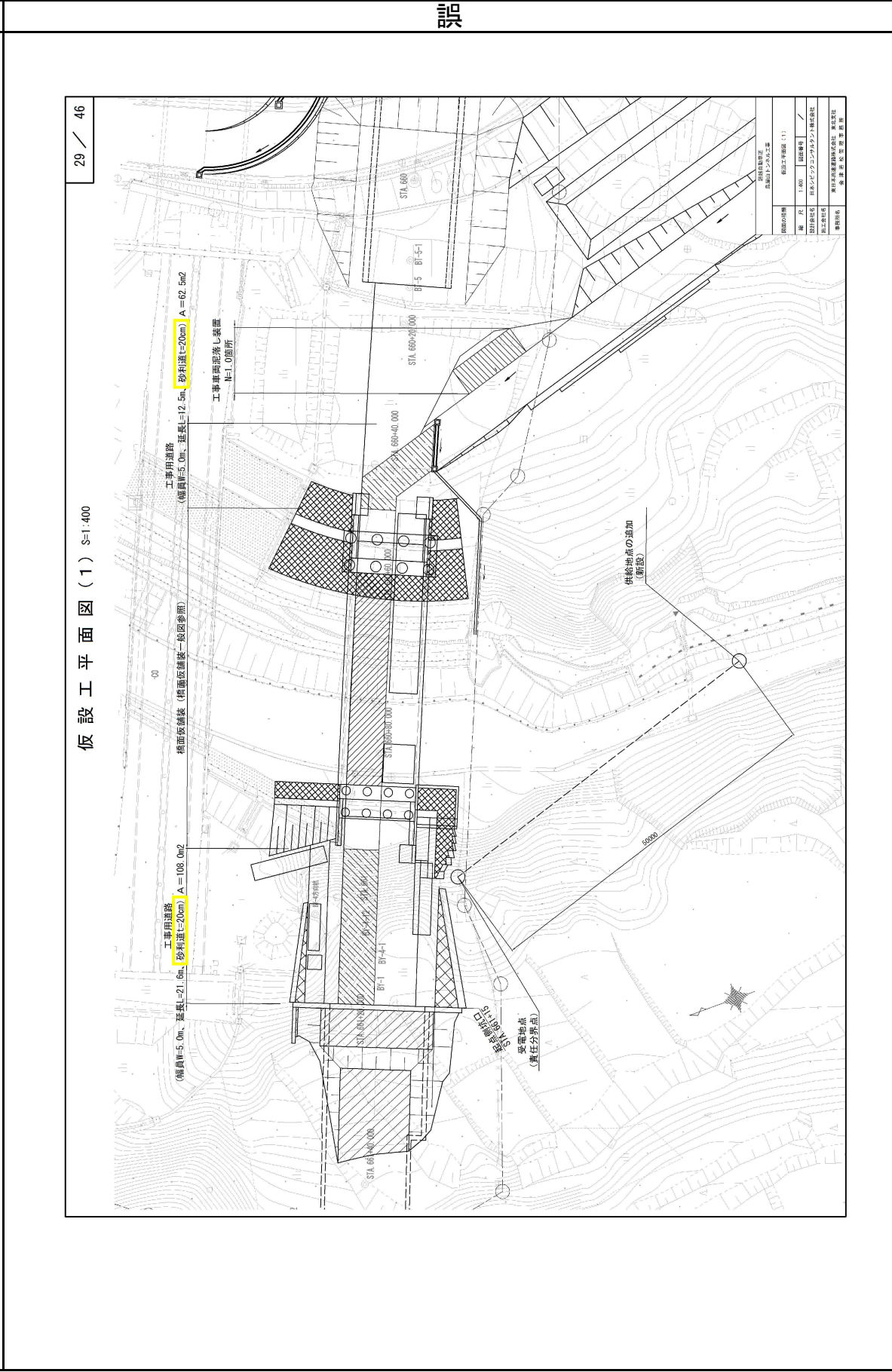
対象  
設計図  
附帯工(16/17)  
ずり仮置き場復旧工図(1)



備考  
訂正



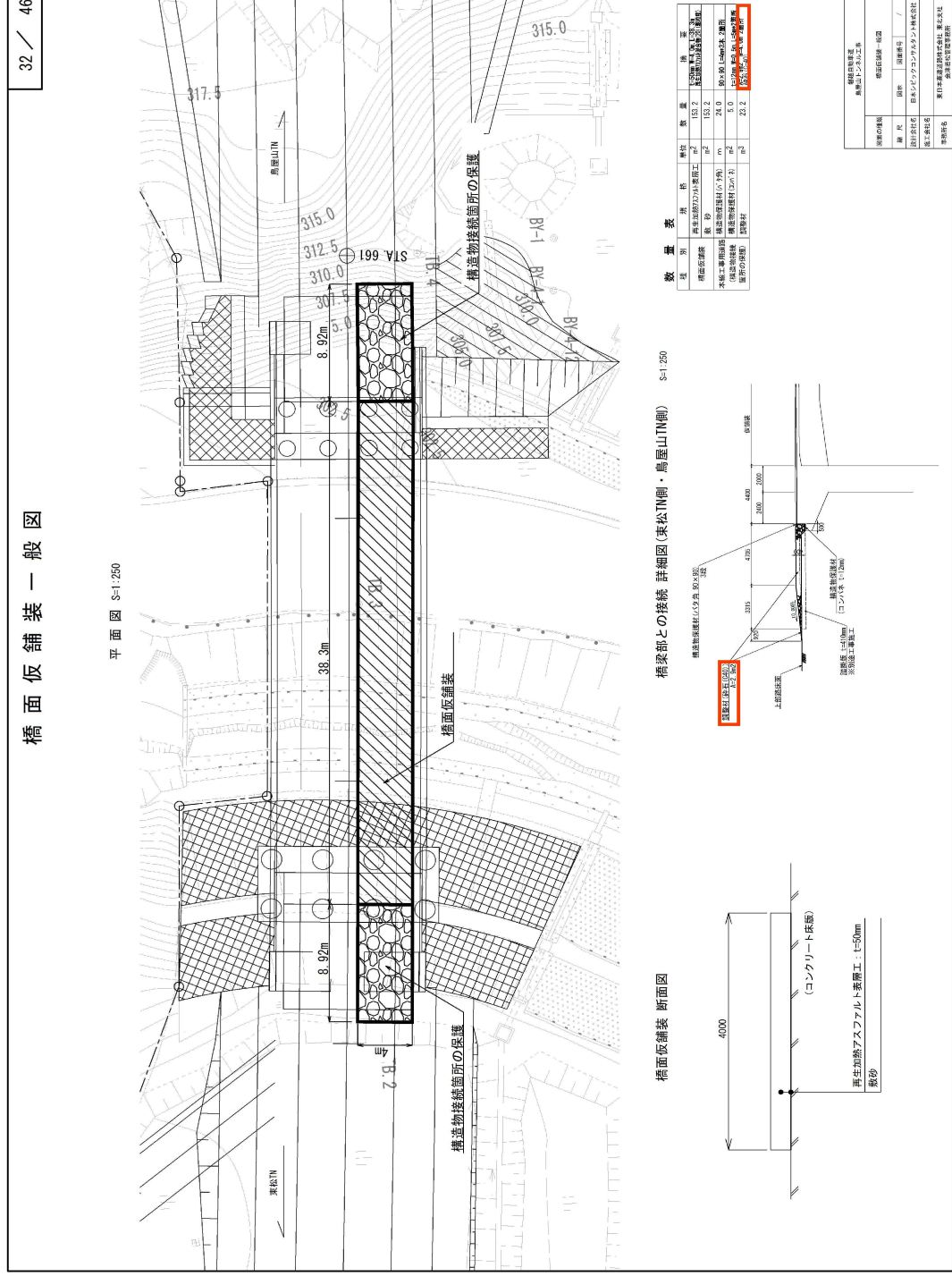
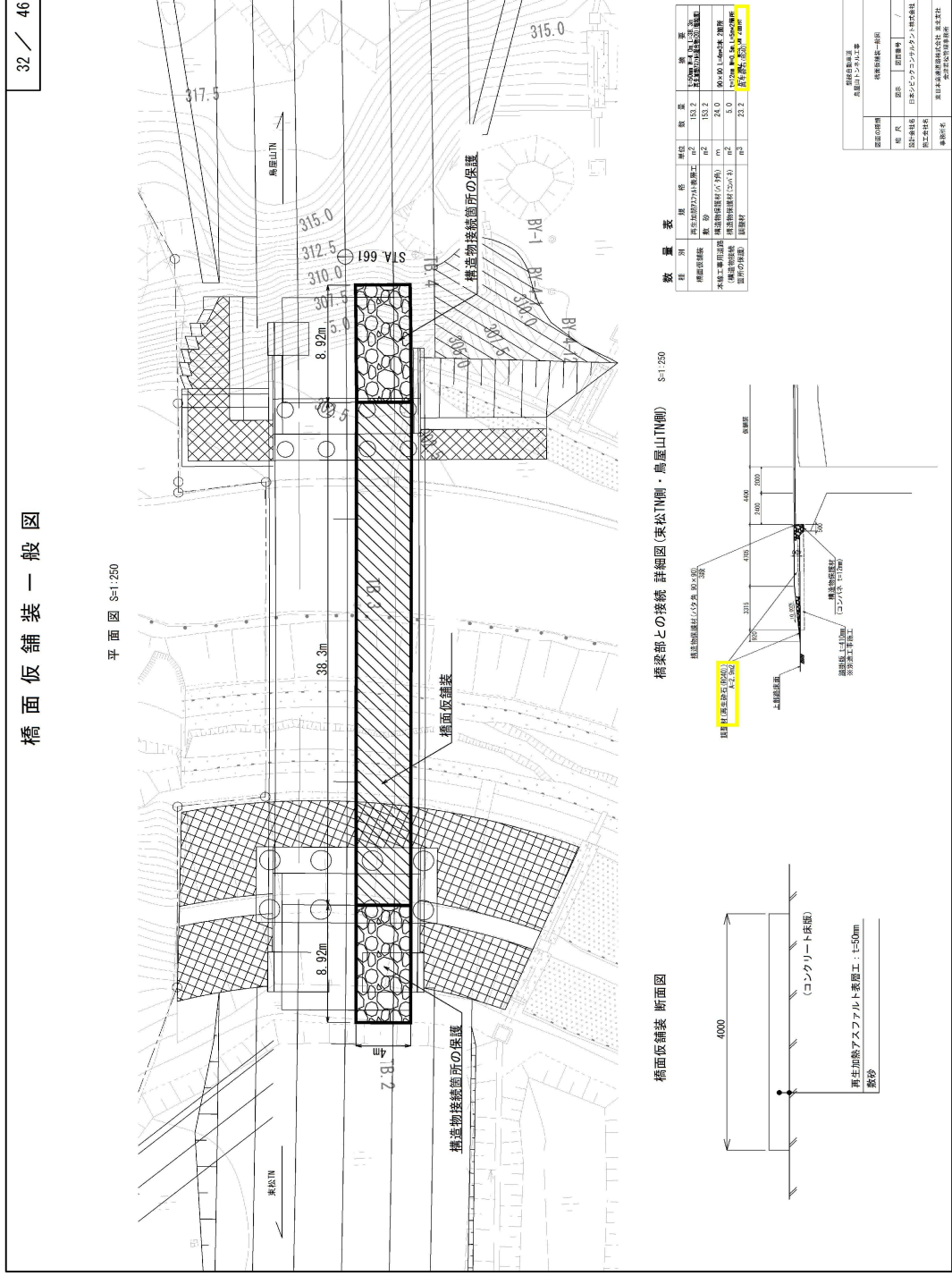
対象  
設計図  
参考図(29/46)  
仮設工平面図(1)



備考  
訂正



対象  
設計図  
参考図(32/46)  
橋面仮舗装一般図



備考  
訂正